

**令和 6 年度**

**教育委員会事務事業点検・評価報告書**

**(令和 5 年度分)**

**寒河江市教育委員会**

## 目 次

|     |                         |    |
|-----|-------------------------|----|
| I   | 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について | 1  |
| 1.  | 制度の概要及び目的               | 1  |
| 2.  | 点検・評価の対象事業              | 1  |
| 3.  | 点検・評価の方法                | 1  |
| 4.  | 学識経験者の知見の活用             | 2  |
| II  | 教育委員会の活動状況              | 3  |
| 1.  | 教育委員会会議の開催状況            | 3  |
| 2.  | 教育委員会協議会の開催状況           | 4  |
| 3.  | 教育委員会会議以外の活動状況          | 5  |
| III | 施策の体系                   | 6  |
| IV  | 外部評価委員の意見               | 8  |
| 1.  | 総 括                     | 8  |
| 2.  | 施策ごとの意見                 | 10 |
| V   | 令和5年度教育委員会の点検・評価対象事務事業  |    |
| ◇   | 評価調書総括表                 | 16 |
| ◇   | 事業の評価（自己評価の基準等）         | 17 |
| ◇   | 点検・評価対象事業一覧             | 18 |
|     | 【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】 | 19 |

## I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

### 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正により、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の方から教育行政について理解を深めていただくため、平成21年度から、3名の外部評価委員の方々から意見をいただき、点検・評価を実施しております。

今年度は、令和5年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和5年度に実施した教育委員会所管事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な27事業を対象に実施しています。

### 3. 点検・評価の方法

各事業について、「事務事業点検・評価調書」を基に、「有効性」、「必要性」、「効率性」及び「公平性」の観点から客観的に分析し、その事業の全体の評価と、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」のいずれであるかの自己評価を行った。

なお、評価調書に示している「目標値」については、令和7年度を目標年度としている「第2次寒河江市教育振興計画【改定版】」に明示されてあるものについてはその数値を使用しており、その目標の数値設定が今回できなかった事業は、今後担当課内で検討していくものとする。

事業の評価については、実施年度の目標値に対する達成度や成果と受け手からの評価によるものなど、総合的に判断するものとし、次のとおり段階の区分をした。

A：予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。

B：予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。

C：予定した成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。

（又は予定した成果には及ばないが一定の評価があった。）

D：予定した成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。

#### 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

##### 寒河江市教育事務評価委員

| 氏 名     | 役 職 名 等                  |
|---------|--------------------------|
| 安 藤 耕 己 | 山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授 |
| 渡 辺 聡   | 有識者                      |
| 細 矢 祐 子 | 有識者                      |

## Ⅱ 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会会議の開催状況

| 開催日                | 区分 | 議案番号 | 会 議 内 容                              |
|--------------------|----|------|--------------------------------------|
| 令和 5 年<br>4 月 21 日 | 定例 | —    | 議案なし（教育長報告のみ）                        |
| 5 月 19 日           | 定例 | 11   | 令和 5 年度教育費補正予算案に対する意見の申出について         |
|                    |    | 12   | 寒河江市小中学校通学区域に関する規則の一部改正について          |
| 6 月 23 日           | 定例 | 13   | 寒河江市社会教育委員の委嘱について                    |
|                    |    | 14   | 寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について              |
|                    |    | 15   | 寒河江市図書館協議会委員の任命について                  |
|                    |    | 16   | 寒河江市教育事務評価委員の委嘱について                  |
| 7 月 19 日           | 定例 | 17   | 令和 6 年度使用教科用図書の採択について                |
| 8 月 18 日           | 定例 | 18   | 教育委員会の事務事業（令和 4 年度分）の点検・評価について       |
| 9 月 20 日           | 定例 | 19   | 教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について     |
|                    |    | 20   | 寒河江市立図書館に関する条例施行規則の一部改正について          |
|                    |    | 21   | 寒河江市立図書館処務規程の一部改正について                |
|                    |    | 22   | 寒河江市立図書館利用規程の廃止について                  |
| 10 月 17 日          | 定例 | —    | 議案なし（教育長報告のみ）                        |
| 11 月 20 日          | 定例 | 23   | 令和 5 年度教育費補正予算案に対する意見の申出について         |
|                    |    | 24   | 寒河江市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について |
|                    |    | 25   | 寒河江市立図書館に係る指定管理者の指定について              |
| 12 月 19 日          | 定例 | 26   | 寒河江市学校施設整備計画改定について                   |
|                    |    | 27   | 教職員の懲戒処分の内申について                      |

| 開催日                | 区分 | 議案番号 | 会 議 内 容                               |
|--------------------|----|------|---------------------------------------|
| 令和 6 年<br>2 月 21 日 | 定例 | 1    | 佐藤文庫図書購入基金条例等の廃止について                  |
| 2 月 27 日           | 臨時 | 2    | 寒河江市教育委員会職員の懲戒処分について                  |
| 3 月 6 日            | 臨時 | 3    | 教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について      |
|                    |    | 4    | 教職員の令和 5 年度末人事異動内申について                |
| 3 月 12 日           | 臨時 | 13   | 教職員の令和 5 年度末人事異動内申について                |
| 3 月 22 日           | 定例 | 5    | 令和 6 年度教育行政の一般方針について                  |
|                    |    | 6    | 公民館長の任命について                           |
|                    |    | 7    | 寒河江市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部改正について |
|                    |    | 8    | 寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について             |
|                    |    | 9    | 寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について                |
|                    |    | 10   | 寒河江市教育委員会事務代決及び専決に関する規程の一部改正について      |
|                    |    | 11   | 寒河江市教育委員会公印規程の一部改正について                |
|                    |    | 12   | 令和 6 年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について         |

## 2. 教育委員会協議会の開催状況

◆開催回数 令和 5 年 4 月 21 日 ほかに 13 回

### ◆報告及び協議内容

- 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後の対応について
- 寒河江市学校施設整備計画改定（案）について
- さがえさくらんぼマラソン大会等各種事業について
- 市立図書館の指定管理者導入について
- 寒河江小学校給食調理業務の民間委託について
- 市文化財保護について
- さがえ未来トークの実施について 他

### 3. 教育委員会会議以外の活動状況

#### (1) 学校訪問（令和5年度は小中6学校を訪問）

| 実 施 日  | 実 施 校      |
|--------|------------|
| 6月30日  | 寒河江市立高松小学校 |
| 7月11日  | 寒河江市立陵東中学校 |
| 7月19日  | 寒河江市立柴橋小学校 |
| 10月 3日 | 寒河江市立陵南中学校 |
| 11月 1日 | 寒河江市立西根小学校 |
| 11月14日 | 寒河江市立白岩小学校 |

#### (2) 総合教育会議

| 実 施 日          | 内 容                                                                    |
|----------------|------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年<br>11月 8日 | (1) 寒河江市学校施設整備計画について<br>(2) さがえ未来コンソーシアムについて                           |
| 令和6年<br>2月21日  | (1) 魅力ある市立図書館になるために<br>～アンケート結果をもとに～<br>(2) 生涯スポーツ社会の実現とスポーツ実施率の向上について |

#### (3) その他調査・研修活動等

| 実 施 日         | 内 容                   |
|---------------|-----------------------|
| 令和5年<br>4月17日 | 寒河江市教育委員会所管事項説明会      |
| 7月13日         | 西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会 |

### III 施策の体系

#### 第2次寒河江市教育振興計画(改定)

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
～ 共に学ぶ 共に育む ～

#### 《基本方針》

#### 《主要施策》

#### 《具体的な施策》

##### 【基本方針1】

豊かな心と健やかな体を育む

1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進

多様な体験と規範意識の醸成

基本的な生活習慣の確立

学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進

2 健やかな体を育む取組みの推進

元気に遊ぶ子どもの育成

学校体育の充実

3 食育の推進

豊かな心と命を育む食育の推進

幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進

地産地消の推進

4 心を育む読書活動の推進

本が好きな子どもの育成

自主的な読書活動の支援

5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進

芸術文化に触れる機会の充実

芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

##### 【基本方針2】

学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

1 学びの充実と確かな学力の育成

学ぶ力を高める教育の推進

主体的な活動ができる力の育成

多様な学習環境づくり

2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進

特別支援教育の充実

教育相談機能の充実

3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進

情報活用能力の育成

ICTを活用した教育の推進

4 グローバル化に対応した教育の推進

外国語(英語)学習や国際理解教育の推進

5 発達に応じた学びを育む教育の推進

幼児教育の充実

幼保小中高の連携の推進

6 キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けた教育の推進

##### 【基本方針3】

生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する

1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進

生涯を通じた学習機会の充実

共に学び合う体制づくり

2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進

誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

競技力向上の推進

スポーツ環境の整備と充実

スポーツを通じた地域活性化の推進

【基本方針4】

ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う

1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進

地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進

2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進

ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護

民俗芸能や伝統行事の保護と伝承

史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用

【基本方針5】

教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する

1 信頼される教育の推進

特色ある教育の創造

信頼される教育環境づくり

2 安全安心で充実した教育環境の整備

安全教育の充実

安全管理の徹底

3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化

地域の特色を生かした公民館活動の推進

活力ある地域をつくる地区公民館運営

生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化

4 開かれた教育行政の推進

信頼に応える教育行政の推進

教育情報の公開と共有化の推進

## Ⅳ 外部評価委員の意見

### 1 総括 ※令和5年度教育委員会事務事業全般について

#### ● (1) 全体について

評価対象となる令和5年度の27事業について概括すると、限られた財源の中でも教育環境を整えることに努め、教育委員会の本義を理解した事業執行を行っていると思われる。また、コロナ禍の制約が続く中、前年度より引き続き、工夫して事業の継続と展開とに当たっていたことに敬意を表するところである。

教育事業評価の取り組みは、1990年代末以降の行政評価導入の延長線上に義務化・努力義務化がなされてきたものである。事業のプロセスをPDCAサイクルでみたとき、教育事業、特に社会教育に関する部分はC（評価）・A（改善）の部分が欠けてきており、また、きちんとしたエヴィデンス（データや根拠）に基づいた成果提示を行って来なかったことが昨今の予算削減につながってきたとも指摘されている。それゆえに「積極的に」評価に取り組むことも行政内における予算獲得の戦略上、有益であると思われるため、昨年度に引き続き、以下意見を申し上げたい。

#### (2) 評価のあり方および事務事業点検・評価調書（評価個票）について

上記の観点から、まずは昨年度に引き続き、事務事業点検・評価調書（以下、「評価個票」とする）について意見を申し上げたい。

昨年度も申し上げたこととはなるが、評価個票に「事業目的」はあるものの、「事業目標」がない。一般に事業計画立案に当たっての「目的」は実施主体から見たもの（実施主体のねらい）である。これに具体的な「目標」、すなわち事業対象者の立場において達成が目指されるものが具体的に示されないとその達成度が評価できないのではなかろうか。できれば、「事業目標（＝事業対象者が～になる、～できるようになる）」を設定し、その点を評価する仕組みにすればよいと思われる。

加えて、これも昨年度にも申し上げたこととなるが、評価個票において示される、「目標値」の記載が空欄となっているのは、教育振興計画に明示されてないゆえである。とはいえ、報告書1頁に「目標の数値設定が今回できなかった事業は、今後担当課内で検討していくものとする」とされているように、特に事業対象者（学習者）の評価がわかるアンケートに基づく指標などを作っていく必要が認められよう。

また、目標値は定量的・客観的指標に基づく「アウトプット評価」と、事業成果を定性的・質的に評価していく「アウトカム評価」がある。前者の設定や数値の把握は容易であるが、教育の成果はそれだけでは評価できないものである。アウトカム評価を定着化させるためにも、前述のように評価個票中にも「事業目標」を具体的に示し、その質的な評価指標を練り上げていく必要があろう。仙台市教育委員会の事務事業評価において、上記2つの評価を事業対象者からの評価（アンケート）にも基づき試みているので、参考にしてもよいと思われる。

以上のような観点から、引き続き評価個票および評価自体を見直していくことを願うところである。しかし、とはいえ自己点検・自己評価を一生懸命すればするほど業務が増して、かえって仕事の効率が低下する「評価の逆機能」も指摘されるところである。ゆえに引き続き将来的なビジョンを定めつつ、段階的に評価のあり方を見直していただきたい。

## 2. 個別事業について

上記のシートの構造・内容の見直しを前提としつつ、個別事業に関するコメントを以下示す。なお、主要な事業については PDF 版でもよいので報告書を作成し付した方が、評価に際しても、さらには住民への説明に際しても有益であることを附言しておきたい。

- 教育委員会において、毎年、様々な事業の評価がなされ、改善され次年度の事業に生かされていることは大変素晴らしいことだと思います。また、この評価資料も見やすいものとなっており、学校及び教育関係者にとって、教育行政に理解を深める貴重な資料だと思います。評価結果は市のHPから閲覧することができるようになっていますが、評価の仕組みや評価結果について知らないという方も少なくないように思います。是非、HPに評価結果が掲載された際は、学校を含め広く周知していただければと思います。(教員の中にも教育委員会の事業やそれまでの経緯を知らず、要求ばかり主張している方もいたように思います。)

- 本年度より教育事務評価委員の委嘱を受け、令和5年度の事務事業について説明を聞かせていただきましたが、各事業ともに前年度の評価の結果と外部評価の意見を踏まえて事業を展開されたことがよくわかりました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な事業が再開されたり、変更になったりする中、それらに対応しながらの開催や取り組みがなされていることに対しても敬意を表します。

改めて、地域住民のため、市の子供たちのために事業を展開されている市職員の皆さまのご苦勞に感謝申し上げます。

## 2 施策ごとの意見

### ○基本方針1 「豊かな心と健やかな体を育む」

#### 【学校保健事業】

- 年々、夏の暑さが厳しくなる中、各校の体育館にスポットクーラーの配備は大変ありがたいことです。熱中症対策として、指数計の統一、対応等の基準など提示していただけると学校としてはありがたいのではないかと思います。

また、今後、学校統合に伴い学校の新設を行う場合は、体育館の冷暖房設備についても検討をお願いします。

- 昨年度、県内中学校において、熱中症での死亡事故や救急搬送などがあり、熱中症の対策としてクーラースポットの設置がなされたという大変うれしい話があったが、どれくらいの効果があったのか、ぜひ検証していただきたい。

#### 【図書資料等購入事業】

- 図書館運営については、指定管理となるということですが、市の予算が投入されるということであれば、市、または、指定管理者による評価があってもよいのではないかと思います。
- 指定管理者制度の導入で、どちらも指定管理者に引き継がれ、これまでの事業の継続と新たな事業の展開がなされるということで、指定管理者との意思疎通を十分に図っていただき、よりよい図書館になっていくことを期待いたします。

#### 【読書普及事業】

- 本年度より指定管理者制度が導入されているため、図書館に関する事業は、次年度からは教育事務事業点検・評価報告の組上に載らないとのことである。ゆえに、ここで下記のことをお願いしておきたい。

他の自治体の指定管理者制度導入図書館では郷土資料の購入減や無断廃棄等が問題となったことがある。自治体立の公立図書館の重要な機能には郷土資料のアーカイブがある。そのことを仕様書等できちんと業者と確認することをお願いしたい。

また、寒河江市での読み聞かせサークルの活動は県内でもよく知られたものである。ぜひ指定管理者制度導入後も図書館での活動が従前通り続けられるよう、所管する教育委員会からも活動の注視を願いたい。

- こども園や保育園から、ボランティアの方に読み聞かせなどお願いする手続きについて周知していただきありがとうございました。
- 指定管理者制度の導入で、どちらも指定管理者に引き継がれ、これまでの事業の継続と新たな事業の展開がなされるということで、指定管理者との意思疎通を十分に図っていただき、よりよい図書館になっていくことを期待いたします。

#### 【芸術文化振興事業】

- 幼児演劇教室はこども園等にとっては大変ありがたい事業です。昨年もお願したように、年度初めに年間計画に明記できるよう、日程を決めていただけるとありがたいです。

今年度予定されている若者が活躍し、楽しめるイベントに期待しています。

- 常にテレビやネット等が身近にある現在、幼少期から生の演劇や音楽等の芸術に触れさせることはとても大事なことになるので、幼児演劇教室は大変意味のある事業と思われます。今後

とも、予算の確保もあると思いますが、幼児はもちろん、小中高校生、若者など、各年代に合わせた自主事業が展開されることを希望します。

### 【美術館運営事業】

- 潤沢な予算が確保されているとは言えない中、常設展示以外の特別企画展や企画展の内容が非常にセンスよく、若い芸術家の作品展示の場として、また、地元出身芸術家の業績を知らしめるに十分に貢献していると思われる。昨年度と比しての来場者の大幅な増加は、新型コロナウイルス禍明けという要因だけではなかろう。ワークショップの実施など、さらなる工夫を試みつつ、個性のある展示がなされることに期待する。
- 気軽に様々な作品を見ることができ身近な美術館という雰囲気がいいと思います。是非様々なものに触れることができる事業の開催をお願いします。
- 事務事業点検・評価調書を見せていただき、年間を通して様々な企画展と多くの来場者が訪れていることに驚きました。自分自身、最近まで、市美術館の存在をあまり把握していませんでした。（美術館というイメージと寒河江市美術館の施設が一致しなかった）自分のような市民が他にもいるのではないかとと思われるため、さらなるPRをお願いします。

### ○基本方針2 「学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む」

### 【教育研究推進事業】

- 教員の若返りが進んでいますが、若い先生方が力をつけられるよう、丁寧な指導や助言、研修体制づくりなどお願いします。ただし、負担にならないように。
- 検査や調査、テストの結果をもとに、成果と課題を把握し、授業改善に取り組んでいることがわかりました。次年度への効果を期待します。また、できるだけ多くの児童生徒に目が行き届き、さまざまな問題を抱えた児童生徒に対応できるよう、各支援員増員のための予算の確保をお願いします。

### 【学力向上推進事業】

- 成績上位層に効果がみられたという結果は大変喜ばしいことだと思います。全体的な向上のため、より丁寧な学習サポートが低学年から必要であると考えます。教員に余裕を与え、よりきめ細かな学習支援ができるように、是非、学力向上支援員等の増員をお願いします。
- 検査や調査、テストの結果をもとに、成果と課題を把握し、授業改善に取り組んでいることがわかりました。次年度への効果を期待します。また、できるだけ多くの児童生徒に目が行き届き、さまざまな問題を抱えた児童生徒に対応できるよう、各支援員増員のための予算の確保をお願いします。

### 【教育支援推進事業】

- 不登校児童生徒の学びの場や居場所を設ける民間施設、NPO等の団体の存立は、やはり人口規模に規定されるところが大きい。それゆえ、寒陵スクールの存在は大きい。ただ、不登校の認知件数と同スクールの利用者数は、特に中学校において前年度に引き続きさらに乖離しており、多様な支援の必要性が浮かび上がる。

現在は学校復帰のみを前提としない不登校児童生徒支援が認められていることを確認しつつ、オンライン学習をも組み合わせて出席とみなすホームスクーリング的対応も引き続き今後の検討に入れていただくとよいと思われる。

- 中学校への別室担当教育相談員が配置されるというのは、学校にとって大きな力となります。毎年、少しずつでも不登校児童生徒が減少して、総合評価が「A」となることを期待します。
- 不登校予防研修会等、未然防止の取り組み事業も行われましたが、なかなか減少にはつながっていないことは残念ですが、引き続きの取り組みをお願いします。中学校への教育相談員の配置の成果を期待します。

#### 【障害児通学支援事業】

- 昨年度事業より登下校とも送迎が可能となったと聞くが、調書にあるように、条件なしに登下校往復が可能となることを切に願う。保護者の日々のさまざまな負担を考えるに、今後の継続・充実が強く望まれる。
- 仕事を持っている保護者にとっては、大変ありがたい事業だと思います。今後、条件なしでの支援になれば、さらに安心した登下校となり、保護者の負担も減ると思われます。

#### 【小中学校 I C T活用支援事業】【I C T整備推進事業（小中学校）】

- 全教室に電子黒板の設置できたこと、教員にとっては大変喜ばしいことだと思います。今後、各教員がそれを有効に使いこなせるようになることが求められると思いますので、ソフトや研修面での支援についてもよろしくお願いします。
- さくら連絡網を通して、学校との連絡がより密になり、学校の様子もわかりやすくなっていると思われます。より一層の連携のために効果的な活用がなされることを望みます。

#### 【コミュニティ・スクール推進事業】

- 地域学校協働活動推進員の確保と研修は他の自治体においてもだいぶ苦慮しているところである。今後も継続して注力していただきたい。部活動改革に際して、部活動指導員の増員（現状は各中学校に1名配置されている）は特に考えていないとのことであったが、他自治体ではむしろ積極的に増員を行い、文化系部活動（吹奏楽など）の土日や放課後の指導体制を作っている事例もあることを附言したい。
- 「さがえ未来コンソーシアム」により、学校のキャリア教育が充実し、教員の負担も軽減されたのではないかと思います。また、地域の企業や団体と学校につながりができ、企業や団体に働く人にとっても活動の場が広がるのではないかと思います。
- 地域・学校・家庭が一緒になって子どもたちを育てていくために、地域学校協働活動推進員の配置は先生方の大きな手助けになっていると思います。今後も継続をお願いします。また、部活動の地域への移行のさらなる推進を希望します。

#### ○基本方針3 「生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する」

#### 【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 例年、パンフレットが美しくなり、講座も魅力的なものになっていると思います。目標値に達してはいないとしても、参加したいと思う人がいる以上、是非、続けてほしいと思います。
- さまざまな講座があり、生涯にわたって学び続けたいと考えている人たちには、大変興味深い事業であると思われますが、子育て世代や働き盛り世代の人たちにとっては、興味はあってもなかなか受講しにくいのではないかと思います。若い世代の参加の工夫等を検討し

ていただきたい。

#### 【生涯スポーツ振興事業】

- 旧幸生小学校体育館を屋内スケートボードの練習場所として活用する試みは、市内外の若者・子どもや若い家族を引きつけるものとなることが期待される。SNSでの周知なども併せ、今後のさらなる展開に期待したい。
- 毎年新たな事業に取り組み、生涯スポーツ普及に努力されていることがわかります。中学校の部活動も生涯スポーツ推進に大きくかかわるものと思いますので、部活動の地域移行に関わり、各種団体と連携を図りながら体制構築への支援をお願いします。
- ボルダリングやモルックなど、ライフステージやニーズに応じた各種体験会や教室が開催され、市民がスポーツに親しむ機会がいろいろ提供されていてありがたいと思います。コロナ禍でスポーツから離れてしまった人たちも、また、スポーツに親しむようになってほしいと思っています。

#### 【体育施設整備事業】

- 小学校のプール開放日が年々少なくなり、状況によっては夏休みに開放しないという学校も出てきているようです。市民プールのニーズが高まることが予想されますので、早急に市民プールの整備をお願いします。
- 指定管理者との連携を図り、市民が安全に快適に使用できる施設になりますように、整備、修繕をお願いします。特に室内施設は、夏場使用の空調設備は熱中症対策もあり重要かと思われます。早期に検討をお願いします。

#### ○基本方針4 「ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う」

#### 【地域スポーツ活性化推進事業】

- 見る、支えるスポーツということで、一流のスポーツ選手を間近で見られる機会があればと思います。例えば、VリーグやBリーグ、プロ野球などの試合が市内で見られたらと思います。
- スポーツツーリズム関連の大会をPRし、若者や県内外の人に寒河江に来てもらうことはとても素晴らしい取り組みだと思います。スポーツをするだけでなく、支える人、見る人の参加が増えていくような取り組みを検討していただき、スポーツでますます寒河江が活気づくことを期待しています。

#### 【市史編纂事業】

- 郷土資料の収集や古文書の解説、それによる寒河江市史編纂叢書の刊行は研究者や歴史愛好家のみならず、学校における探究型学習の深化に際しても重要なものとなる。今後も成果公表を工夫しつつ、調査研究を継続・深化させていただきたい。  
なお、市史編纂叢書のうち、在庫がないバックナンバーについてはデジタルアーカイブ化も必要と思われる。今後、引き続きの検討をお願いしたい。
- 市史編纂に関わる方々の地道な努力と作業に感謝します。

#### 【文化財保護庶務事業】

- 「市文化財保存活用地域計画」に従って、寒河江市の歴史と文化を守り後世に伝える活動

がなされることを期待します。

#### 【史跡慈恩寺旧境内整備事業】

- 市の施設である慈恩寺テラスの活用状況などについても指定管理者が担当部局で評価してもよいのではないかと思います。慈恩寺は市の歴史観光の中核をなすものと思いますので。
- R4年度に市長部局から教育委員会所管になったことにより、より専門的な内容の深い事業展開ができるものと期待しています。

#### 【郷土館保存事業】

- 児童の学習にとっては大事な施設となっています。是非、存続と施設内の充実をお願いします。
- 市内小中学生の郷土学習のみならず、一般市民、市外の人たちにも訪れてもらえるよう、特に桜の時期に合わせて、他のイベント等とも合わせたPRをお願いします。

#### ○基本方針5 「教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する」

#### 【学校職員衛生管理事業】

- 時間外労働80時間を超える職員は、実際にはもつといるのではないかと思います。  
また、新採教員の離職が県の課題ということも聞きます。規模に関わらず、新採教員がどんな学校に配属となっても同じような配慮や支援が受けられるようになればと思います。
- 教職員の働き方改革が推進されてはいるものの、多忙化はなかなか改善されにくいと思われます。今後とも、教職員のメンタル面の健康維持に努めていただきたい。

#### 【教育振興事業（小中学校）】

- 各教室に電子黒板が配備されたことにより、デジタル教科書の活用拡大を期待しているところです。
- 現場の先生方の意見を聞いていただきながら、よりよい学習環境の整備をお願いします。

#### 【学校管理事業（小中学校）】

- 各校の施設設備の経年劣化への対応など維持管理費が増える状況にあります。また、寒河江中部小学校においては学級数が増え、年々特別教室が減っていくなどの問題もあります。早く、学校設置整備計画が進むことを期待します。
- 今後の学校統廃合を見据えながら、子どもたちの安全安心を第一優先とした施設設備の維持管理をお願いします。

#### 【公民館活動事業】【公民館整備事業】

- 公民館に常勤の職員がいることは大変ありがたいことだと思います。学校施設整備計画が進めば、地域コミュニティの拠点としての公民館の役割はさらに大きいものとなります。是非、施設、及び、事業の充実をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各地区公民館事業が再開されるにあたり、復活、縮小、廃止等、それぞれの事業がよりよいものとなるよう検討されているように思いました。今後とも地区公民館と分館が連携し、地域住民が元気になる事業の展開がなされ、合

わせて快適に使用できるよう整備をお願いします。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- スマホやタブレットに向かう子どもが増える中、地域社会で異世代と交流したりなど、大人が設定しないと難しい時代だと思います。今だから必要な事業ではないか思いますので、是非、継続できるようにお願いします。
- 異年齢や地域の方々と交流が少なくなっている現代の子どもたちにとって、大変意味のある事業だと思います。今後とも、ぜひ継続した取り組みをお願いします。

#### 【教育委員会事務局管理事業】

- 部活動改革に際して、特に地域クラブでの活動は受益者負担を前提としていることについては、今後、何らかの補助等を考えていく必要があるかと思われる。経済的格差が学びの差につながらないような手立てが引き続き必要と考える。  
また、引き続き放課後や土日も教員が指導を続けたい場合の方策として、兼職・兼業がある。特にボランティアで指導することが「強いられ」ないようにしてもらいたい。  
さらに、地域での指導者の研修が十二分に求められる。子どもとの接し方、体罰等がないように、部活動の範疇を外れても、そこには学校と連携した「教育的意図」の共有が求められよう。
- 中学校部活動の地域移行に向けて、各関係団体と連携しながら、子どもたちのことを第一に考え、のびのびと活動できるよう検討がなされていくことを期待します。

## V 令和5年度

### 教育委員会の点検・評価対象事務事業

評価調書総括表

1 評 価

| 担 当            |             | 担 当<br>事業数 | 評 価          |               |   |   |                |
|----------------|-------------|------------|--------------|---------------|---|---|----------------|
| 課 (室)          | 係 等         |            | A            | B             | C | D | 計              |
| 学校教育課          | 教育総務係       | 3          | (33.3%)<br>1 | (66.7%)<br>2  |   |   | (100.0%)<br>3  |
| 学校教育課          | 学事係         | 5          | (20.0%)<br>1 | (80.0%)<br>4  |   |   | (100.0%)<br>5  |
| 学校教育課<br>指導推進室 | 指導係         | 4          | (25.0%)<br>1 | (75.0%)<br>3  |   |   | (100.0%)<br>4  |
| 生涯学習課          | 生涯学習係       | 2          |              | (100.0%)<br>2 |   |   | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 歴史文化係       | 3          |              | (100.0%)<br>3 |   |   | (100.0%)<br>3  |
| 生涯学習課          | 慈恩寺振興係      | 1          |              | (100.0%)<br>1 |   |   | (100.0%)<br>1  |
| 生涯学習課          | 文化センター事業管理係 | 2          | (50.0%)<br>1 | (50.0%)<br>1  |   |   | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 中央公民館       | 2          |              | (100.0%)<br>2 |   |   | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 図書館業務係      | 2          |              | (100.0%)<br>2 |   |   | (100.0%)<br>2  |
| スポーツ振興課        | スポーツ振興係     | 3          |              | (100.0%)<br>3 |   |   | (100.0%)<br>3  |
| 計              |             | 27         | (14.8%)<br>4 | (85.2%)<br>23 |   |   | (100.0%)<br>27 |

※表中、( ) 書きは、達成度各区分の比率を示す。

2 方 向 性

| 担 当            |             | 担 当<br>事業数 | 方 向 性        |               |    |     |               |                |
|----------------|-------------|------------|--------------|---------------|----|-----|---------------|----------------|
| 課 (室)          | 係 等         |            | 拡充           | 継続            | 縮小 | 見直し | 休廃止           | 計              |
| 学校教育課          | 教育総務係       | 3          |              | (100.0%)<br>3 |    |     |               | (100.0%)<br>3  |
| 学校教育課          | 学事係         | 5          | (20.0%)<br>1 | (80.0%)<br>4  |    |     |               | (100.0%)<br>5  |
| 学校教育課<br>指導推進室 | 指導係         | 4          | (25.0%)<br>1 | (75.0%)<br>3  |    |     |               | (100.0%)<br>4  |
| 生涯学習課          | 生涯学習係       | 2          |              | (100.0%)<br>2 |    |     |               | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 歴史文化係       | 3          |              | (100.0%)<br>3 |    |     |               | (100.0%)<br>3  |
| 生涯学習課          | 慈恩寺振興係      | 1          |              | (100.0%)<br>1 |    |     |               | (100.0%)<br>1  |
| 生涯学習課          | 文化センター事業管理係 | 2          |              | (100.0%)<br>2 |    |     |               | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 中央公民館       | 2          |              | (100.0%)<br>2 |    |     |               | (100.0%)<br>2  |
| 生涯学習課          | 図書館業務係      | 2          |              |               |    |     | (100.0%)<br>2 | (100.0%)<br>2  |
| スポーツ振興課        | スポーツ振興係     | 3          |              | (100.0%)<br>3 |    |     |               | (100.0%)<br>3  |
| 計              |             | 27         | (7.4%)<br>2  | (85.2%)<br>23 | 0  | 0   | (7.4%)<br>2   | (100.0%)<br>27 |

※表中、( ) 書きは、方向性各区分の比率を示す。

## ◆ 事業の評価(自己評価の基準等)

| 視 点             |                                    | 区 分              |                                       | 基 準 等                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------|------------------------------------|------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 有効性           | 期待された成果(アウトカム)は得られたか(目標に対して事業が有効か) | a                | 期待を上回る                                | ・目標とすべき姿と事業の成果を比較し、当初の目的が達成されているか。<br>・目標値に対する達成率により以下の基準で判断する。<br>a : 達成率100%以上<br>b : 達成率80%以上、100%未満<br>c : 達成率70%以上、80%未満<br>d : 達成率60%以上、70%未満<br>e : 60%未満又は今後向上の見込みなし<br>・目標値が設定されていない場合には、事業の状況等を勘案したうえで、上記に準じて判定する。 |
|                 |                                    | b                | 期待どおり                                 |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | c                | 概ね期待どおり                               |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | d                | 期待を下回る                                |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | e                | 効果が少ないか又は向上の見込みなし                     |                                                                                                                                                                                                                              |
| ② 必要性           | 事業ニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化)         | a                | 増 加                                   | ・最近の事業を取り巻く状況(法制度の改正、社会的ニーズの変化、経済情勢の変化等)から見て、事業実施後のニーズに変化があるか。また、担当課等でアンケートなどで調査している場合、調査結果(満足度、重要度など)を事務事業点検・評価調書の「5」に記載すること。                                                                                               |
|                 |                                    | b                | 横ばい                                   |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | c                | 減 少                                   |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | d                | かなり減少                                 |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 | 市(行政)の関与は必要か(市が関与する範囲は適切か)         | a                | 【市(行政)の関与は】必要あり                       | ・市が関与する範囲は適切か、見直す余地がないか。<br>・市が関与を縮小し、関係機関、関係団体、民間等に移行することは可能か。<br>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。                                                                                                         |
|                 |                                    | b                | 当面は必要                                 |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | c                | 必要性は低い                                |                                                                                                                                                                                                                              |
| ③ 効率性           | 効率性を高める余地はないか(効率的に実施できたか)          | a                | 余地なし                                  | ・投入資源(予算・人員)を縮小することは可能か。<br>・効率的な執行を工夫できる余地はないか。<br>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。                                                                                                                        |
|                 |                                    | b                | 当面は余地なし                               |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | c                | 余地あり                                  |                                                                                                                                                                                                                              |
| ④ 公平性           | 公平性を見直す余地はないか(事業の効果は公平に配分されたか)     | a                | 余地なし                                  | ・事業効果が一部に限定されることなく、全ての対象者・受益者が事業の恩恵を受けられるか。<br>・受益者負担を求めている状況は適切であるか。<br>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。                                                                                                   |
|                 |                                    | b                | 当面は余地なし                               |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | c                | 余地あり                                  |                                                                                                                                                                                                                              |
| ⑤総合評価<br>(自己評価) |                                    | A                | 予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。         |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | B                | 予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。         |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | C                | 予定していた成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。 |                                                                                                                                                                                                                              |
|                 |                                    | D                | 予定していた成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。      |                                                                                                                                                                                                                              |
| ⑥事業の方向性         |                                    | 拡充、継続、縮小、見直し、休廃止 |                                       |                                                                                                                                                                                                                              |

# ◇ 点検・評価対象事業一覧

| 市教育振興計画における<br>基本方針                                | 事業名             | 担当課     | 主要施策                          | ページ |
|----------------------------------------------------|-----------------|---------|-------------------------------|-----|
| 【基本方針1】<br><br>豊かな心と健やかな体を育む                       | 学校保健事業          | 学校教育課   | 1-2                           | 19  |
|                                                    | 図書資料等購入事業       | 生涯学習課   | 1-4                           | 20  |
|                                                    | 読書普及事業          | 生涯学習課   | 1-4                           | 21  |
|                                                    | 芸術文化振興事業        | 生涯学習課   | 1-5                           | 22  |
|                                                    | 美術館運営事業         | 生涯学習課   | 1-5                           | 23  |
| 【基本方針2】<br><br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む            | 教育研究推進事業        | 学校教育課   | 2-1                           | 24  |
|                                                    | 学力向上推進事業        | 学校教育課   | 2-1, 2                        | 25  |
|                                                    | 教育支援推進事業        | 学校教育課   | 2-2                           | 27  |
|                                                    | 障害児通学支援事業       | 学校教育課   | 2-2                           | 29  |
|                                                    | 小中学校ICT活用支援事業   | 学校教育課   | 2-3                           | 30  |
|                                                    | ICT整備推進事業（小中学校） | 学校教育課   | 2-3                           | 31  |
|                                                    | コミュニティ・スクール推進事業 | 学校教育課   | 1-1, 2, 3, 4<br>2-6<br>4-1, 2 | 32  |
| 【基本方針3】<br><br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する          | 寒河江さくらんぼ大学推進事業  | 生涯学習課   | 3-1                           | 34  |
|                                                    | 生涯スポーツ振興事業      | スポーツ振興課 | 3-2                           | 35  |
|                                                    | 体育施設整備事業        | スポーツ振興課 | 3-2                           | 37  |
| 【基本方針4】<br><br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切に<br>する心を養う   | 地域スポーツ活性化推進事業   | スポーツ振興課 | 3-2                           | 38  |
|                                                    | 市史編纂事業          | 生涯学習課   | 4-2                           | 39  |
|                                                    | 文化財保護庶務事業       | 生涯学習課   | 4-2                           | 40  |
|                                                    | 史跡慈恩寺旧境内整備事業    | 生涯学習課   | 4-2                           | 41  |
|                                                    | 郷土館保存事業         | 生涯学習課   | 4-2                           | 42  |
| 【基本方針5】<br><br>教育を取り巻く環境や社会<br>の変化に応じた取組みを推<br>進する | 学校職員衛生管理事業      | 学校教育課   | 5-1                           | 43  |
|                                                    | 教育振興事業（小中学校）    | 学校教育課   | 5-1                           | 44  |
|                                                    | 学校管理事業（小中学校）    | 学校教育課   | 5-2                           | 45  |
|                                                    | 公民館活動事業         | 生涯学習課   | 5-3                           | 46  |
|                                                    | 公民館整備事業         | 生涯学習課   | 5-3                           | 47  |
|                                                    | 放課後子ども教室推進事業    | 生涯学習課   | 5-3                           | 48  |
|                                                    | 教育委員会事務局管理事業    | 学校教育課   | 5-4                           | 49  |

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

|                 |                                                             |       |                                    |
|-----------------|-------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------|
| 事業名             | 学校保健事業                                                      | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                       |
| 施策体系<br>〔教育振興計〕 | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>2 健やかな体を育む取組みの推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成 | 予算科目  | 10 教育費<br>2.3 小学校費、中学校費<br>2 学校保健費 |
| 実施年度            | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                  |       |                                    |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 児童生徒の健康管理、学習環境の適正維持を図る。                                                                                                |
| 事業内容 | 児童生徒の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。<br>また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。 |

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

|    |       |        |      |   |     |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|-----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 15,768 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 15,768 | 決算額 | 15,061 |
| R5 | 当初予算額 | 17,278 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 17,278 | 決算額 | 15,512 |

### (中学校費)

|    |       |       |      |   |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 7,671 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 7,671 | 決算額 | 7,078 |
| R5 | 当初予算額 | 7,758 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 7,758 | 決算額 | 6,742 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                            |               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| (1) 児童・生徒検診<br>①身体計測・内科・眼科・歯科各検診<br>②耳鼻科検診<br>③心電図検査<br>(2) 環境衛生検査(飲料水、照度、ダニアレルギー、プール水質検査) | ④尿検査<br>⑤貧血検査 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|
| 児童生徒の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 |
|--------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                          | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                     | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 児童生徒の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し、良好な学習環境の整備に繋げる。 |              |               |               |                 |         |

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

|        |                                                                         |       |         |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|-------|---------|
| 事業名    | 図書資料等購入事業                                                               | 所管課・係 | 生涯学習課   |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>4 心を育む読書活動の推進<br>本が好きな子どもの育成<br>自主的な読書活動の支援 | 所管課・係 | 図書館:業務係 |
| 教育振興計画 |                                                                         | 予算科目  | 10 教育費  |
|        |                                                                         | 項     | 4 社会教育費 |
|        |                                                                         | 目     | 5 図書館費  |
| 実施年度   | R5目標値: - 冊 R5実績値: 冊 R5達成度: %                                            |       |         |

2. 事業の概要

|      |                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。                                                           |
| 事業内容 | 1 一般図書や児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。<br>2 図書館の特色や利用者のニーズに対応しながら、蔵書の整備を進める。 |

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |    |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 9,163 | 補正額等 | 0 | 合計 | 9,163 | 決算額 | 9,062 |
| R5 | 当初予算額 | 9,159 | 補正額等 | 0 | 合計 | 9,159 | 決算額 | 9,064 |

4. 事業の実施状況

|                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| ◆図書館蔵書状況(令和6年3月末)            | 【参考】◆利用状況                     |
| 1 一般書/108,428冊(前年度/108,084冊) | 1 入館者数/91,137人(前年度/76,736人)   |
| 2 児童書/33,102冊(前年度/32,373冊)   | 2 貸出者数/34,009人(前年度/33,080人)   |
| 3 視聴覚資料/2,754点(前年度/2,732点)   | 3 貸出登録者数/15,565人(前年度/14,993人) |
| 4 雑誌/3,395冊(前年度/3,463冊)      | 4 貸出冊数/149,499冊(前年度/143,424冊) |
|                              | 5 開館日数/330日(前年度/329日)         |

5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 乳幼児期からの読書習慣を推進するため、3カ月児健診時に配布するブックスタート絵本の購入や児童書、大型絵本の蔵書充実を図った。<br>[購入数] (1) ブックスタート絵本/600冊(前年度/620冊)<br>(2) 児童書/1,119冊(前年度/928冊)                         |
| 2 図書館に備えるべき図書資料の整備を基本とし、ニーズの高い新刊図書の購入に努めた。また、障がい者向けの図書や英訳図書の充実を図った。<br>[購入数] (1) 一般書/2,926冊(前年度/2,819冊)<br>(2) 雑誌/824冊(前年度/813冊)<br>(3) 視聴覚資料/24点(前年度/19点) |
| 3 小中学校の担当教諭や教育活動推進員と連携し、学習や読書活動に必要な図書資料を購入し、学校での活用を図った。<br>また、外国語 図書は、ALTが活用した。                                                                            |

◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                    | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性                    |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|----------------------------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                              | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 指定管理者へ移行となるため次年度からの事業評価はなし |
| b             | b                                                                                                                                         | c            | c             | b             |                 |                            |
| 今後の対応         | 令和6年度から民間のノウハウを活かしたよりよい市民サービスの提供を主目的に市立図書館に指定管理者制度を導入したため、事業自体を指定管理者に引き継いだ。<br>今後は指定管理者と意思疎通を図りつつ、指定管理者の豊富な経験を活かし、郷土資料や一般図書等の蔵書の充実を図っていく。 |              |               |               |                 |                            |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                                         |           |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 事業名    | 読書普及事業                                                                  | 生涯学習課     |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>4 心を育む読書活動の推進<br>本が好きな子どもの育成<br>自主的な読書活動の支援 | 図書館：業務係   |
| 教育振興計画 |                                                                         |           |
| 実施年度   | R5目標値： - % R4実績値： % R4達成度： %                                            | 予算科目      |
|        |                                                                         | 款 10 教育費  |
|        |                                                                         | 項 4 社会教育費 |
|        |                                                                         | 目 5 図書館費  |

## 2. 事業の概要

|      |                                             |
|------|---------------------------------------------|
| 事業目的 | 読書への興味と関心を促すため読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。 |
| 事業内容 | 読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー設置等を継続的に実施する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 2,415 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 2,415 | 決算額 | 2,074 |
| R5 | 当初予算額 | 2,108 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 2,108 | 決算額 | 1,865 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◇主な定例事業◇</p> <p>1 図書館ボランティアグループ4団体による「おはなし会」の開催(週1回または月1回)</p> <p>2 市子育て推進課、健康福祉課と連携し「ブックスタート事業」を配本のみで実施(12回・269人へ配布[前年度/12回・261人へ配布])</p> <p>3 乳幼児と保護者を対象にした「絵本の部屋」を開催(24回・296人参加[前年度/24回・455人参加])</p> <p>◇自主事業◇</p> <p>1 さがえ図書館まつり<br/>11月19日(日)～12月3日(日)期間中のイベントに222人参加 リサイクルブック利用2,022冊</p> <p>2 読書講演会<br/>朗読と音楽と珈琲と 12月13日(日)・37人参加</p> <p>3 山形の文学を探る<br/>県内在住ミステリー作家長岡弘樹氏講演会 11月5日(日)・43人参加</p> <p>◇共催事業◇</p> <p>1 第52回さくらんぼの都市(まち)さがえ全国俳句大会(表彰式：7月2日(日)・4,678投句[前年度/表彰式6月26日(日)・5,205投句])</p> <p>◇その他◇</p> <p>市報に、図書館の本の借り方(10/5号)図書館見学やおはなし会の内容と申し込み方法等(3/5号)を掲載</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------|
| 1 自主事業や図書館ボランティアグループの「おはなし会」、展示会をとおして図書館に足を運ぶきっかけを作ることができ、図書館に親しみをもってもらえた。 |
| 2 ブックスタート事業では、親子が絵本を介して触れ合うことによってより親子の親密感が高まり、絆が強くなった。                     |
| 3 全国俳句大会では、全国から多くの投句があり、江戸時代から俳諧が盛んな寒河江市を全国へ発信することができた。                    |

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                       | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性                    |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|----------------------------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                 | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 指定管理者へ移行となるため次年度からの事業評価はなし |
| b             | b                                                                                                                                                                            | c            | c             | b             |                 |                            |
| 今後の対応         | 令和6年度から民間のノウハウを活かしたよりよい市民サービスの提供を主目的に市立図書館に指定管理者制度を導入したため、事業自体を指定管理者に引き継いだ。<br>指定管理者には、これまで図書館で行ってきた読書普及事業を引き継ぐとともに、新たな提案として軽自動車の移動図書館LiBOON(リブーン)を導入し、クラッピンサガエ等に出向き好評を得ている。 |              |               |               |                 |                            |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                                                                |                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 事業名    | 芸術文化振興事業                                                                                       | 生涯学習課                                  |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進<br>芸術文化に触れる機会の充実<br>芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造 | 文化センター事業管理係                            |
| 教育振興計画 |                                                                                                |                                        |
| 実施年度   | R7目標値: 90 % R5実績値: 100 % R5達成度: 111 %                                                          | 予算科目<br>10 教育費<br>4 社会教育費<br>3 芸術文化振興費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                              |
|------|----------------------------------------------|
| 事業目的 | 市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進             |
| 事業内容 | 多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 13,812 | 補正額等 | 0 | 合計 | 13,812 | 決算額 | 12,132 |
| R5 | 当初予算額 | 3,719  | 補正額等 | 0 | 合計 | 3,719  | 決算額 | 3,155  |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)市民文化会館自主事業<br>①幼児演劇教室「ピーターパンとウェンディ」／10月3日・4日／699人(チケット販売612枚)<br>(2)実行委員会、市民文化団体への支援<br>①県美展寒河江移動展／10月11日～16日／来場者617名<br>②県民芸術祭開幕式典・開幕公演(寒河江市総合文化祭)／9月2日～4日／入場券販売枚数678名<br>③寒河江市音楽祭／3月3日／入場券販売枚数678名<br>(3)山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)<br>(4)舞台づくり支援事業(舞台発表のレベル向上及び独創的かつ継続的な公演活動を支援)<br>①演奏力等向上支援事業 3回<br>②発表会活動支援事業 5回 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本年度の自主事業としては唯一「幼児演劇教室」は予定どおり実施できた。令和4年度に続き、二日間に分けて開催し、夢のある分かりやすいストーリーと臨場感あふれる舞台に、子どもたちも夢中で見入っていた。9月には、26年ぶりの本市開催となる「県民芸術祭開幕式典・開幕公演」を「市総合文化祭」と合わせ、市芸術文化協議会と共同で開催。広く本市の伝統芸能を盛り込む内容で、県内各地からの来場者に好評を得ることができた。また各種団体に対し、各種制度により支援することができた。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                                                              | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                                                        | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | a                                                                                                                                                                                                                   | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 自主事業について、令和6年度は市制施行70周年として「SAGAEまちなか芸術祭」「若者活性化ライブ」を実施する。SAGAEまちなか芸術祭においては、老若男女を問わず気軽に芸術を感じてもらえるようなイベントを作り上げていく。「若者活性化ライブ」は中高生～20代で構成する実行委員会を組織し、若者が活躍しかつ楽しめるようなイベントにする。また、各種団体の支援についても今後も進め、本市の芸術文化の振興と意識の高揚を図っていく。 |              |               |               |                 |         |

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

|        |                                                                                                |       |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 事業名    | 美術館運営事業                                                                                        | 生涯学習課 |
| 所管課・係  | 文化センター事業管理係                                                                                    |       |
| 施策体系   | 【基本方針1】<br>豊かな心と健やかな体を育む<br>5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進<br>芸術文化に触れる機会の充実<br>芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造 |       |
| 教育振興計画 |                                                                                                |       |
| 実施年度   | R7目標値: 8,500 人 R5実績値: 11,279 人 R5達成度: 133 %                                                    |       |
| 予算科目   | 款 10 教育費<br>項 4 社会教育費<br>目 3 芸術文化振興費                                                           |       |

2. 事業の概要

|      |                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市美術館をととして中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。 |
| 事業内容 | 多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援                                    |

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |    |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 7,141 | 補正額等 | 0 | 合計 | 7,141 | 決算額 | 6,738 |
| R5 | 当初予算額 | 7,735 | 補正額等 | 0 | 合計 | 7,734 | 決算額 | 7,405 |

4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)特別企画展<br>アートツリーやまがたvol.12/2月4日～2月26日開催(22日間)/来場者1,316名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (2)美術館企画展<br>①鬼海弘雄写真展「PERSONA」/7月8日～8月27日開催(48日間)/来場者1,741名<br>②八頭こほり展「何を見ても何かを思い出す」/9月16日～10月1日開催(15日間)/来場者540名<br>③開館15周年記念 郷間正親 絵画作品展/11月2日～11月7日開催(5日間)/来場者241名<br>④松田重仁展「浮遊する水」/11月16日～12月5日開催(20日間)/来場者921名<br>⑤「音と光のファンタジーアート展」/12月29日～1月4日開催(6日間)/来場者164名<br>(3)寒河江市芸術文化協議会加盟団体等(教育委員会主催)<br>①埋文フェア/8月30日～9月10日開催(10日間)/来場者452名<br>②各地区公民館写真展慈恩寺絵画コンクール/12月9日～12月26日開催(17日間)/来場者428名 |

5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 寒河江市美術館の運営については、年間を通して活発で効果的な展示により、好調だった令和4年度(10,773人)を506人上回る11,279人を記録した。当美術館では通算4回目となる鬼海弘雄写真展も根強い人気を誇り、また今回初めて実施した松田重仁展についても、当館ではなかなか出来なかった彫刻作品に大勢の方が見入り、いずれも郷土ゆかりの質の高い展示をすることができた。また、県内でもなかなか開催されることの少ない「アートツリーやまがた」や若手作家展についても、イベントも併いながら多くの若者を呼び込み、本市中心市街地の活性化にも貢献することができた。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                                                       | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                                                 | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | A               | 継続      |
| a             | a                                                                                                                                                                                                            | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 令和6年度は、市制施行70周年記念事業として「鬼海弘雄回顧展」を開催する。また、美術館専門員の若手作家とのつながりを活かしながら、若者にも訴える展示を心がけるとともに、地域に関連する美術的価値の高い作家の開拓を一層進め、特色ある美術館として展示活動に取り組んでいく。常設展についても、名誉館長の郷間氏とも相談しながら、引き続き四季折々寒河江市の象徴となる展示内容を企画し、将来のあり方についても検討していく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                    |                                                                                                  |               |                |                  |                    |  |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------|------------------|--------------------|--|
| 事業名                | 教育研究推進事業                                                                                         |               |                | 所管課・係            | 学校教育課<br>指導推進室 指導係 |  |
| 施策体系<br>教育振興計<br>画 | <b>【基本方針2】</b><br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>1 学びの充実と確かな学力の育成<br>学ぶ力を高める教育の推進<br>主体的な活動ができる力の育成 |               |                | 予算科目             | 10 教育費             |  |
|                    |                                                                                                  |               |                |                  | 1 教育総務費            |  |
|                    |                                                                                                  |               |                |                  | 4 教育研究所費           |  |
| 実施年度               | R5目標値: 53.5 %                                                                                    | R5実績値: 50.9 % | R5達成度: 95.9 %  | ※ 標準学力検査(NRT)小学生 |                    |  |
| 実施年度               | R5目標値: 52.5 %                                                                                    | R5実績値: 50.2 % | R5達成度: 95.6 %  | ※ 標準学力検査(NRT)中学生 |                    |  |
| 実施年度               | R5目標値: 100 %                                                                                     | R5実績値: 40 %   | R5達成度: 40 %    | ※ 全国学調で全国を上回った教科 |                    |  |
| 実施年度               | R5目標値: 50 %                                                                                      | R5実績値: 64.4 % | R5達成度: 128.8 % | ※ 英検3級以上の中3      |                    |  |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。                                                                      |
| 事業内容 | (1) 教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。<br>(2) 学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 6,353 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 6,353 | 決算額 | 5,911 |
| R5 | 当初予算額 | 6,447 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 6,447 | 決算額 | 6,070 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査<br>① 小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:小6以上)<br>② 小2、4、6、中1における知能検査の実施<br>③ 中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回)<br>④ 小5、中2における市学力調査(総合学力調査)の実施(国語、算数・数学)<br>(2) 教育研究所<br>① 研修部 19部会(陵東学区6部会、陵南学区7部会、陵西学区3部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)各2回<br>② 学力向上対策委員会<br>○ 学力対策委員会の開催(5月・9月・12月・2月)<br>○ 市内各小・中学校の学力向上に向けたアクションプランの作成と情報共有<br>○ 「自立した学習者の育成」を目指したICTを活用した新しい学び方について研修<br>③ 公開研究会<br>○ 中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(三泉小、南部小、醍醐小) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| 各種学力検査委の結果                                                        |
| (1) 数研式NRT 小学校全体偏差値 50.9(R4:51.3) 中学校全体偏差値 50.2(R4:51.6)          |
| (2) 市学力調査業者テスト 小5平均偏差値 国語 49.4 算数 48.9<br>中2平均偏差値 国語 50.2 数学 50.7 |

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                         | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                   | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                              | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 各校の主体的な研修を支援するとともに、公開研究会及び各学校の校内授業研究会において、適切な指導・助言を行う。また、各種学力調査の結果を分析し、授業づくり、指導改善につなげることができるように、市学力対策委員会を中心に改善策を検討し、市内各校において共通理解を図って取組を推進していく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                                                                               |       |           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------|
| 事業名    | 学力向上推進事業                                                                                                      | 所管課・係 | 学校教育課     |
| 施策体系   | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>1 学びの充実と確かな学力の育成<br>学ぶ力を高める教育の推進<br>2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>特別支援教育の充実 | 指導推進室 | 指導係       |
| 教育振興計画 |                                                                                                               | 予算科目  | 10 教育費    |
|        |                                                                                                               | 項     | 1 教育総務費   |
|        |                                                                                                               | 目     | 3 教育指導援助費 |
| 実施年度   | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                                                    |       |           |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                                                                               |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけさせるために、学校の状況に応じて支援員を配置し活用する。                                                                                                                                |
| 事業内容 | 児童生徒の「読解力」と「英語力」を育成するために、リーディングスキルテストやまるぐランド(読み書きの認知特性に配慮したICT学習教材)、GTEC(スコア型英語4技能テスト)を実施し、検査結果をもとに、指導改善を図る。<br>児童生徒の学力・生活力向上を図るため、学力向上支援員、特別教育支援員、教育活動支援員、外国語指導助手、外国語指導支援員、日本語指導支援員を配置、派遣する。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |         |      |    |    |         |     |        |
|----|-------|---------|------|----|----|---------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 100,990 | 補正額等 | 0  | 合計 | 100,990 | 決算額 | 90,145 |
| R5 | 当初予算額 | 99,392  | 補正額等 | 35 | 合計 | 99,427  | 決算額 | 95,318 |

## 4. 事業の実施状況

|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)読解力育成                      | ①リーディングスキルテスト 4月、中学1年生及び一部の教員を対象にテストを実施。<br>課題研究部会にて、結果分析を踏まえた授業改善を行い、児童生徒の読解力を図った。<br>②まるぐランド 小学校2年生(一部3年以上特支学級)に対して導入し、児童の認知特性に応じた問題に取り組ませることで、基礎的な読み書きスキルの向上を図った。5月と10月にチェックテスト実施。5~3月教材利用。                                                                                         |
| (2)英語力育成                      | ①GTEC 中学生の英語力を把握するために、中学校第2学年におけるGTEC(英語4技能試験)を10月に実施した。<br>事前事後の研修会のため、英語教育推進会議(6・1月)を開催した。<br>②イングリッシュ・デイ 1日英語だけで過ごす「English Day」事業……8月3・4日、旧幸生小を会場に実施。                                                                                                                              |
| (3)学力向上支援員                    | ①配置人数 7校 11名 (R4 12名)<br>寒河江小(2名)、寒河江中部小(2名)、南部小(2名)、柴橋小(2名)、陵東中(1名)、陵南中(1名)、陵西中(1名)<br>②業務内容 担任による学習指導の補助。学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成のための個に応じたきめ細やかな学習支援。担任と協働した学習指導や探究的な学習活動の効果的な推進<br>③勤務体制 年間215日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務                                                            |
| (4)特別教育支援員                    | ①配置人数 11校 16名 (R4 15名)<br>寒河江小(2名)、寒河江中部小(2名)、南部小(2名)、西根小(1名)、柴橋小(1名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名)<br>②業務内容 通常学級や特別支援学級における個別の支援が必要な児童生徒への学習及び生活上の支援<br>③勤務体制 年間215日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務                                                                      |
| (5)教育活動支援員                    | ①配置人数 12校(兼務あり) 13名 (R4 15名)<br>寒河江小(1名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(1名)、三泉小(兼務)、柴橋小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(1名)、陵西中(2名、1名は高松小兼務)<br>②業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援<br>その他児童生徒の読書活動推進のための業務(読み聞かせ、ブックトーク、ピブリオバトル、読書推進講座)<br>事務補助(中学校は、給食配膳業務を兼ねる)<br>③勤務体制 1日6時間、年間250日程度の勤務 |
| (6)外国語指導助手(ALT)・外国語指導支援員(AET) | ①派遣人数 ALT……5名(R4 5名) AET……2名(R4 2名)<br>②派遣体制 ALT……中学校に常駐(陵東中1名、陵南中2名、陵西中1名、学校教育課1名)、小学校にも派遣<br>AET……小学校に派遣<br>③業務内容 小中学校の外国語の授業の支援、英語教育推進会議のサポート、イングリッシュ・デイの企画運営                                                                                                                       |
| (7)日本語指導支援員                   | ①配置人数 1校(陵東中) 1名<br>②業務内容 外国からの編入生への日本語指導及び学習・生活上での支援<br>③勤務体制 1日6時間、年間215日程度(授業日)                                                                                                                                                                                                     |

## 5. 事業の効果及び評価

### (1)リーディングスキルテストの結果(中1)

昨年度に引き続き、文書の基本構造を把握する力(係り受け解析)、代名詞などが指す内容を認識する力(照応解決)に、特に課題があることがわかった。教科書を活用し、児童生徒が情報を正確に読解していくための実践を行い、授業改善を図った。

### (2)まるぐランドの結果(小2)

教材の使用前と使用後のチェックテストの比較

A評価:46.84%⇒69.11% B評価:41.46%⇒24.52% C評価:7.91%⇒2.23% D評価:3.8%⇒4.14%

中間層の総合成績B・Cの児童が減少し、上位層の成績Aが増加する結果となり、効果が見られた。

### (3)GTECの結果(中2)

①TOTAL 363.1(A1.2) (R4 377.3 A1.2 R3 376.5 A1.2 R2 366.7 A1.1)

②READING 71.2(A1.1) (R4 82.0 A1.2 R3 74.8 A1.1 R2 75.1 A1.1)

③LISTENING 87.4(A1.1) (R4 82.6 A1.1 R3 94.4 A1.2 R2 78.5 A1.1)

④WRITING 116.9(A1.2) (R4 133.1 A1.2 R3 122.7 A1.2 R2 134.6 A1.2)

⑤SPEAKING 85.8(A1.1) (R4 79.3 Pre-A1 R3 83.5 A1.1 R2 77.6 Pre-A1)

受検した生徒が異なるとともに、問題形式も昨年度と変更になったこともあり、単純に比較できない面があるが、4技能のうち昨年度課題であったLISTENING、SPEAKINGに成果が見られた。授業中にALTのネイティブな英語に触れる機会、生徒が英語で発話する機会を意識した授業改善を継続していく。

### (4)English Day

小中学生が、8/3:39名、8/4:30名、計69名が申し込んだ(R4:74名、R3:61名、R2:中止、R1:26名、H30:25名、H29:15名)。参加希望者の増加に伴い、2日間での開催を企画した。ALT(5名)・AET(2名)・教員(11名)・ボランティア(2名)と、様々な英語の活動に取り組んだ。

### (5)各種支援員(会計年度任用職員)の配置

国・県の施策と連携するとともに、学校の実態に合わせて各種支援員を配置し、児童生徒の学習・生活の支援、教員の業務支援を行った。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                      | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                                           | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 令和6年度も、読解力、英語力の向上を目指した取り組みを継続する。特に、学力の基礎である読解力について、リーディングスキルテストを中学2年へ拡大実施し、また、まるぐランド(読み書きの認知特性に配慮したICT学習教材)も小学校3・4年生に拡大導入し、小学校期からの読解力の向上を図る。(R6予算 108, 629) |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

|      |                                                                               |       |                                |
|------|-------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 事業名  | 教育支援推進事業                                                                      | 所管課・係 | 学校教育課<br>指導推進室 指導係             |
| 施策体系 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br><br>2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>教育相談機能の充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |
| 実施年度 | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                    |       |                                |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 不登校をはじめとする、学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。                                                                                        |
| 事業内容 | 児童生徒の教育問題に関し指導助言を行い、児童生徒の健全な心身の発達に資するため、教育相談員を配置する。<br>不登校児童生徒に対して、集団生活の適応力と精神的・社会的自立を図るため、適応指導教室を運営し、学習支援・訪問相談を行う。<br>不登校の低年齢化への対応研修を実施した。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 8,245 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 8,245 | 決算額 | 6,090 |
| R5 | 当初予算額 | 9,512 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 9,512 | 決算額 | 8,359 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 教育相談室の概要                                                                                                      |
| ① 相談員の配置: 教育相談員6名                                                                                                 |
| ② 相談の件数: ○学 校 来室相談 83件(R4:124)、電話相談 130件(R4:118)<br>(延べ) ○保護者 来室相談 41件(R4:46)、電話相談 134件(R4:123)、家庭訪問 159件(R4:111) |
| (2) 寒陵スクールの概要                                                                                                     |
| ① 在籍児童生徒(年度末): 計32名(小学生14名、中学生18名) R4:24名(小学生11名、中学生13名)                                                          |
| ② 開設日数(勤労青少年ホーム): 208日(R4:208日)                                                                                   |
| ③ その他: 長期休業中の学習、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施                                                           |
| (2) 不登校予防研修会                                                                                                      |
| ① 参加対象者: 各学校の生徒指導担当など1名以上(希望者含む)                                                                                  |
| ② 開催期日: 5/17、6/21、7/19、10/4、11/29、2/14 計6回                                                                        |
| ③ 講師: 安保 寛明 氏(山形県立保健医療大学 教授)、鹿嶋 真弓 氏(立正大学 教授)ほか                                                                   |

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 令和5年度の不登校による年間30日以上欠席者<br>小学生36名(R4:25名)、中学生87名(R4:59名)                                             |
| (2) 寒陵スクール在籍児童生徒進路状況<br>中3(9名)の内、1名は公立高校、8名は私立高校に進学した。                                                  |
| (3) 寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。<br>学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。 |

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性       | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | A               | 拡充      |
| b             | a            | a            | a             | b             |                 |         |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今後の対応 | <p>(1)不登校児童生徒の増加に対応するため、市内中学校の別室担当の教育相談員を3名配置する。</p> <p>(2)不登校の未然防止・早期対応の観点から、SOSの出し方・受け止め方教育を普及させるため市内全教職員を対象とした悉皆研修を開催する。また、不登校児童生徒を新規に生まないための魅力的な学校づくりを目指した「学級づくり」「授業づくり」の実践について年間計2回の研修を行う。</p> <p style="text-align: right;">(R6年度予算 18,036千円)</p> |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

|                   |                                                                           |       |                                |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 事業名               | 障害児通学支援事業                                                                 | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                   |
| 施策体系<br>(教育振興計 画) | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進<br>特別支援教育の充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>3 教育指導援助費 |
| 実施年度              | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                |       |                                |

### 2. 事業の概要

|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便性向上と保護者の負担軽減を図る。 |
| 事業内容 | 登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。                    |

### 3. 予算額・決算額

| C. 予算額・決算額 |       |       |      |   |     |       | (単位:千円 千円未満切上げ) |       |
|------------|-------|-------|------|---|-----|-------|-----------------|-------|
| R4         | 当初予算額 | 2,293 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 2,293 | 決算額             | 1,254 |
| R5         | 当初予算額 | 4,929 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 4,929 | 決算額             | 843   |

### 4. 事業の実施状況

|          |                                                                                                                            |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 実施   | 登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援                                                                                                    |
| (2) 利用状況 | 小学校: 6校、10名、延べ 576回 (R4 7校、10名、延べ 721回)<br>中学校: 2校、2名、延べ 178回 (R4 2校、3名、延べ 218回)<br>合計: 8校、12名、延べ 754回 (R4 9校、13名、延べ 939回) |

### 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっている。また利用の開始時には、保護者と十分な打ち合わせを行い、児童生徒が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                             | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|----------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                       | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                  | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 条件付きで登下校往復での支援が出来るようになったが、条件をなくして登下校往復での予算を要求していく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                 |                                                                                                |       |                                      |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------|
| 事業名             | 小中学校ICT活用支援事業                                                                                  | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                         |
| 施策体系<br>教育振興計 画 | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進<br>情報活用能力の育成<br>ICTを活用した教育の推進 | 予算科目  | 款 10 教育費<br>項 1 教育総務費<br>目 3 教育指導援助費 |
| 実施年度            | R5目標値: 100 % R5実績値: 100 % R5達成度: 100 %                                                         |       |                                      |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子どもたちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。                                                                                                                                   |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの運用</li> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員への支援事業</li> <li>・ICT機器の購入及び保守点検</li> <li>・GIGAスクールタブレットを活用し、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・さくら連絡網(デジタル配信)。</li> </ul> |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |     |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|-----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 26,296 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 26,296 | 決算額 | 26,182 |
| R5 | 当初予算額 | 27,848 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 27,848 | 決算額 | 27,220 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。</li> <li>・教職員のGIGAスクールタブレット活用支援のため外部委託でサポート窓口を設置し、支援員を各学校に派遣し教職員への支援事業を行った。</li> <li>・校務支援システムを全小中学校に導入。</li> <li>・GIGAスクールタブレットの不具合や修理・保険対応のサポート窓口を設置。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員支援事業を行い、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・GIGAスクールタブレットによる、双方向型授業及びミライシードASP版の活用を可能とした。</li> <li>・さくら連絡網を活用し、各種お便り、緊急連絡、出席確認、検温等、学校と保護者間での連絡が容易になった。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                          | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                     | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 全児童生徒へのタブレットが導入され、授業での使用はもちろん、家庭学習や、一部小学校ではオンラインによる「家庭訪問」としての使用がなされる。「学校だより」等の配布物も、さくら連絡網を活用してデータ配信しているが、さらに活用を図っていく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

|        |                                                                                                |       |                                          |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------|
| 事業名    | ICT整備推進事業                                                                                      | 所管課・係 | 学校教育課                                    |
| 施策体系   | 【基本方針2】<br>学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進<br>情報活用能力の育成<br>ICTを活用した教育の推進 | 学事係   |                                          |
| 教育振興計画 |                                                                                                | 予算科目  | 款 10 教育費<br>項 2,3 小学校費、中学校費<br>目 3 教育振興費 |
| 実施年度   | R5目標値: 100 % R5実績値: 100 % R5達成度: 100 %                                                         |       |                                          |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。                                            |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の授業用パソコンの整備。</li> <li>・授業等で使用する電子黒板の整備。</li> <li>・校務用(職員室等)パソコンの整備。</li> </ul> |

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

|    |       |        |      |        |     |        |     |        |
|----|-------|--------|------|--------|-----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 50,428 | 補正額等 | -2,000 | 合 計 | 48,428 | 決算額 | 46,188 |
| R5 | 当初予算額 | 28,308 | 補正額等 |        | 合 計 | 28,308 | 決算額 | 24,535 |

(単位:千円 千円未満切上げ)

### (中学校費)

|    |       |        |      |   |     |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|-----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 13,979 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 13,979 | 決算額 | 12,350 |
| R5 | 当初予算額 | 17,322 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 17,322 | 決算額 | 14,995 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>小学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <p>○パソコン 児童用デスクトップPC195台、児童用ノートPC58台、教師用デスクトップPC21台、電子黒板用PC25台、校務用PC180台</p> <p>○プリンター A3モノクロレーザー16台、A3カラーレーザー10台、A4モノクロレーザー10台、A4カラーレーザー6台、A3カラーインクジェット複合機3台、A3カラーインクジェット3台</p> <p>○電子黒板等 電子黒板(大型モニター等含む)71台、プロジェクター10台</p> <p>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</p> <p>中学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <p>○パソコン 生徒用デスクトップPC60台、生徒用ノートPC50台、教師用デスクトップPC6台、電子黒板用PC15台、校務用PC100台</p> <p>○プリンター A3モノクロレーザー3台、A3カラーレーザー複合機3台、A3カラーレーザー5台、A4モノクロレーザー10台、A3カラーインクジェット複合機2台、A3カラーインクジェット3台</p> <p>○電子黒板等 電子黒板(大型モニター等含む)36台、プロジェクター3台</p> <p>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。</li> <li>・全児童へタブレットが配布され、さらに効果的な活用ができるよう、普通教室配置の電子黒板を増設した。(R3 10台)→R6まで全普通教室への設置完了予定。</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                     | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                               | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | A               | 拡充      |
| a             | b                                                                          | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを活用していく。あわせて、パソコン教室等設置の児童生徒用パソコンは、リース満了分から撤去していく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |               |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|
| 事業名  | コミュニティ・スクール推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |               |
| 施策体系 | <b>【基本方針1】</b><br>豊かな心と健やかな体を育む<br>1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進<br>多様な体験と規範意識の醸成<br>基本的な生活習慣の確立<br>学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進<br>2 健やかな体を育む取組みの推進<br>元気に遊ぶ子どもの育成<br>3 食育の推進<br>豊かな心と命を育む食育の推進<br>4 心を育む読書活動の推進<br>自主的な読書活動の支援<br><b>【基本方針2】</b><br>学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む<br>6 キャリア教育の推進<br>社会的・職業的自立に向けた教育の推進<br><b>【基本方針4】</b><br>ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進<br>地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>民俗芸能や伝統行事の保護と伝承 |                |               |
| 実施年度 | R5目標値: 100 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 97.7 %  | R5達成度: 97.7 % |
| 実施年度 | R5目標値: 100 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 95.7 %  | R5達成度: 95.7 % |
| 実施年度 | R5目標値: 100 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 100 %   | R5達成度: 100 %  |
| 実施年度 | R5目標値: 105 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 103.3 % | R5達成度: 98.4 % |
| 実施年度 | R5目標値: 105 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 106.0 % | R5達成度: 101 %  |
| 実施年度 | R5目標値: 105 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 97.4 %  | R5達成度: 92.8 % |
| 実施年度 | R5目標値: 105 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 95.2 %  | R5達成度: 90.7 % |
| 実施年度 | R5目標値: 100 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 94.4 %  | R5達成度: 94.4 % |
| 実施年度 | R5目標値: 100 %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R5実績値: 93.3 %  | R5達成度: 93.3 % |

|       |   |           |         |
|-------|---|-----------|---------|
| 所管課・係 |   | 学校教育課     |         |
|       |   | 指導推進室 指導係 |         |
| 予算科目  | 款 | 10        | 教育費     |
|       | 項 | 1         | 教育総務費   |
|       | 目 | 3         | 教育指導援助費 |

※ 全国学調「いじめはいけない」小6  
 ※ 全国学調「いじめはいけない」中3  
 ※ コミュニティ・スクールの導入率  
 ※ 全国体力・運動能力調査 小5男  
 ※ 全国体力・運動能力調査 小5女  
 ※ 全国体力・運動能力調査 中2男  
 ※ 全国体力・運動能力調査 中2女  
 ※ 全国学調「朝食摂取率」小6  
 ※ 全国学調「朝食摂取率」中3

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援する。                                                                                                              |
| 事業内容 | 学校・家庭・地域の連携協働の一層の推進を図るため、各学校にコミュニティ・スクールの導入、地域学校協働活動推進員の配置、学校の実態に合わせた補助金を交付する。<br>地域おこし推進員を事務局とする「さがえ未来コンソーシアム」を中心として、各学校のコミュニティ・スクール間の連携や企業・大学・芸術文化・福祉・スポーツ・観光・ボランティアなど各種団体との連携協働を推進する。 |

## 3. 予算額・決算額

R3: 特色ある学校づくり推進事業、さがえっこ育み推進事業、さがえっこライフデザインセミナー事業

(単位: 千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 22,073 | 補正額等 | 0 | 合計 | 22,073 | 決算額 | 17,191 |
| R5 | 当初予算額 | 21,296 | 補正額等 | 0 | 合計 | 21,296 | 決算額 | 17,406 |

## 4. 事業の実施状況

### (1) 学校・家庭・地域連携協働

- ① 市内12の小中学校でコミュニティ・スクールを導入。
- ② 各小中学校に地域学校協働活動推進員を12校に15名配置。
- ③ 地域コーディネーター連絡協議会 年5回
- ④ 各小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進  
※ 学校支援ボランティアの年間延べ実績人数 29,507人 (R4 26,463人)

### (2) さがえ未来コンソーシアム

- ① 中学生職業体験学習の受け入れ事業所のリスト化 100社(内新規事業所16社) (R4 120社 ※参考値)
- ② 企業・事業所ライブラリーのデータベース化 (HP) 100社 (R4 40社)
- ③ さがえ少年少女発明クラブの運営  
クラブ員: 53名(県内最多) 指導員: 22名 活動: 18回 協賛企業: 40社

### (3) 部活動指導員の配置

- ① 部活動指導員を各中学校に1名ずつ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術向上につなげた。



## 5. 事業の効果及び評価

(1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における学校・家庭・地域の連携協働推進活動を計画し展開した。  
 (2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当した。  
 (3)さがえ未来コンソーシアムが中心となって、キャリア教育・創造性開発・ふるさと学習・サポーター育成の各分野において、学校と地域や企業をつなぐ学習プログラムの開発と実践を行った。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                              | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                        | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | a                                                                                   | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 令和6年度も、寒河江市の未来を担う児童生徒を育成するため、学校・家庭・地域の連携協働推進活動、さがえ未来コンソーシアム構想、部活動指導員配置事業をさらに推進していく。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |                                                                                                   |       |                             |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 事業名              | 寒河江さくらんぼ大学推進事業                                                                                    | 所管課・係 | 生涯学習課<br>中央公民館              |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する<br>1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進<br>生涯を通じた学習機会の充実<br>共に学び合う体制づくり | 予算科目  | 10 教育費<br>4 社会教育費<br>4 公民館費 |
| 実施年度             | R7目標値: 900 人 R5実績値: 456 人 R5達成度: 50.6 %                                                           |       |                             |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 生涯学習及び交流の場として、中央・地区公民館をつないだ誰もが自己実現のため生き活きと学び、学びを通じた触れ合いで人と人がつながり、学びの成果が地域で輝き、まちを育てるための「市民大学」を開設する。                                             |
| 事業内容 | (1) 中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした講座を実施する。<br>(2) 地域の理解を深めたり、時代のニーズを取り入れた講座内容を選定し、各会場をキャンパスに見立てて実施する。<br>(3) 講座の実施に当たっては、受講生による運営委員が主となり自主的な運営を進めていく。 |

## 3. 予算額・決算額

| (単位:千円 千円未満切上げ) |       |       |      |     |     |       |     |       |
|-----------------|-------|-------|------|-----|-----|-------|-----|-------|
| R4              | 当初予算額 | 2,002 | 補正額等 | 700 | 合 計 | 2,702 | 決算額 | 2,256 |
| R5              | 当初予算額 | 2,024 | 補正額等 | 0   | 合 計 | 2,024 | 決算額 | 1,028 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)開催時期／8月2日～12月2日<br>全体受講者141名(定員175名)／7学部(1大学院を含む)を実施                                                                                                                                                                                                             |
| (2)講座内容<br>①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」＜中央キャンパス＞／8名受講(定員15名)<br>②with地球・未来・創造学部＜中央キャンパス＞／10名受講(定員25名)<br>③歴史探検学部＜中央キャンパス＞／33名受講(定員40名)<br>④アクション亢学部＜東部キャンパス＞／25名受講(定員30名)<br>⑤心と体の健康学部＜南部キャンパス＞／20名受講(定員20名)<br>⑥クラフト工芸学部＜柴橋キャンパス＞／20名受講(定員20名)<br>⑦地域発見学部＜西部キャンパス＞／25名受講(定員25名) |

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成26年度から開催している「寒河江さくらんぼ大学」は、令和2年度の全面中止を除き9回目の開催となった。令和4年度に続き7つの全学部体制で実施した。東部・南部・柴橋・西部の各キャンパスにおいては、地域の特色も取り入れた内容でいずれも大好評であった。また、中央キャンパスにおいても、人気の高い「歴史探検学部」をはじめ、受講者数こそ定員を下回ったが、「大学院(慈恩寺の歴史専攻科)」では受講の成果をレポート集にまとめ上げたほか、「with地球・未来・創造学部」においては、最終回に学習成果を述べてもらうワークショップを設け、高校生一名の受講もあり熱心な盛り上がりが見られた。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                              | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                        | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                                                                   | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 7つの全学部体制を復活して二年目ということで、受講者・事務局ともに開催に慣れてきたという面もあり、今後も各キャンパスの地域の特性を活かしながら、さらに「選べる教室」や「キャンパスカフェ」等も復活しながら、一層受講者数を伸ばしていきたい。また申込の方法も、働く若い世代も受講しやすいようにネットでの申込受付を追加し、先着ではなく抽選の申込にする等の改善を図る。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                                |       |           |
|--------|----------------------------------------------------------------|-------|-----------|
| 事業名    | 生涯スポーツ振興事業                                                     | 所管課・係 | スポーツ振興課   |
| 施策体系   | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する                          |       | スポーツ振興係   |
| 教育振興計画 | 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進<br><br>誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進<br>競技力向上の推進 | 予算科目  | 10 教育費    |
|        |                                                                | 項     | 5 保健体育費   |
|        |                                                                | 目     | 1 保健体育総務費 |
| 実施年度   | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                     |       |           |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。                                                                                 |
| 事業内容 | (1)指定管理者やスポーツ団体等と連携し、更に支援を行いながら、年間を通した体育施設の利用促進による多様なスポーツの振興を図る。<br>(2)ライフステージやニーズに応じた生涯スポーツの振興を図るため、各種大会・教室等を開催及び支援する。 |

## 3. 予算額・決算額

| (単位:千円 千円未満切上げ) |       |       |      |   |     |       |       |
|-----------------|-------|-------|------|---|-----|-------|-------|
| R4              | 当初予算額 | 9,331 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 9,331 | 決算額   |
| R5              | 当初予算額 | 9,314 | 補正額等 |   | 合 計 | 9,314 | 決算額   |
|                 |       |       |      |   |     |       | 8,883 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 市スポーツ推進委員との連携、(一社)市スポーツ協会への事業委託等により、多彩なスポーツ教室や講座等を開催し、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供することを目指した。また、各種大会の開催や競技力向上に係る支援等を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| (1)生涯スポーツ推進事業<br>①市スポーツレクリエーション祭 (330名) (R4:271名/ R3: 294名/ R2: 390名)<br>②市民スキー教室 ※雪不足のため中止 (R4:35名/ R3:35名/ R2:事業中止)<br>③ちびっこスポーツ教室 (20回,510名) (R4: 19回,506名/ R3: 18回,367名/ R2: 20回,534名)<br>④ジュニアスポーツ教室 (19回,716名) (R4: 22回,726名/ R3: 24回,474名/ R2: 20回,597名)<br>⑤成人スポーツ講座 (ゴルフ教室) (20回,271名) (R4: 18回,328名/ R3: 20回,404名/ R2: 20回,289名)<br>⑥ボルダリング教室 (2回,49名) (R4: 1回,47名)<br>⑦モルック体験会 (2回,170名) (R4: 5回,217名)<br>⑧ちびっこスポーツ体験会 (1回,80名) ※新規事業<br>(2)ニュースポーツ出前事業 (12回,5種目,368名) (R4: 10回,5種目,200名/ R3: 6回,3種,195名/ R2: 2回,3種,39名)<br>(3)スポーツ少年団育成事業 (指導者,育成母集団研修会 1回,36名) (R4: 1回,27名/ R3: 1回,43名/ R2: 1回,71名)<br>(4)市スポーツ協会育成事業 (表彰,激励事業、モンテディオ支援事業、スポ少活動支援事業他) |  |

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)生涯スポーツ推進事業等については(一社)市スポーツ協会が担い、ニュースポーツ出前教室等については市スポーツ推進委員会が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を実施した。申し込みの初日に定員数に達する教室もあり、好評を得ている。<br>(2)市民に対しスポーツに親しむ機会を数多く提供することで、市民の健康づくりやスポーツ人口の拡大を図るとともに、スポーツ大会等の開催を通じた競技力向上と指導者等の育成を図った。関連事業の継続や顕彰による市民の健康づくりや競技スポーツの活性化に繋がっている。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                          | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                    | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | a                                                                                                                                                                               | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | (一社)寒河江市スポーツ協会ほか関係組織との連携を強化し、年齢や体力を問わず誰もが気軽にスポーツを楽しむ事業を中心に、多様な新たなニーズにも対応しながら、市民の健康増進に寄与する生涯スポーツを推進する。<br>部活動改革に関して、市スポーツ協会や関連団体と連携・協議しながら部活動指導への関与・支援等をしていく。<br>(R6予算 10,054千円) |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |                                                                                  |       |                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 事業名  | 体育施設整備事業                                                                         | 所管課・係 | スポーツ振興課<br>スポーツ振興係             |
| 施策体系 | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する<br>2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進<br>スポーツ環境の整備と充実 | 予算科目  | 10 教育費<br>5 保健体育費<br>1 保健体育総務費 |
| 実施年度 | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                       |       |                                |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。                                                                         |
| 事業内容 | (1)市民体育館等の利用環境を適正に維持するため、施設の改修等を計画的に行う。<br>(2)日常点検や専門業者の定期保守点検により、施設設備に起因する事故防止及び不具合等の早期発見に繋げる。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |    |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 2,937 | 補正額等 | 0 | 合計 | 2,937 | 決算額 | 2,458 |
| R5 | 当初予算額 | 920   | 補正額等 | 0 | 合計 | 920   | 決算額 | 898   |

## 4. 事業の実施状況

体育施設整備について、次の整備・修繕等を行った。(指定管理者が行った修繕等を除く)

|                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| ① テニスコート防風ネット修繕               | 244,200 円   |
| ② 市民プールアルミプール排水バルブ周辺配管補修      | 101,200 円   |
| ③ 市民プール男子トイレ和式便所修繕(洋式化)       | 250,800 円   |
| ④ 市民体育館視覚障がい者誘導ブロック補修         | 198,000 円   |
| R4 市民プール配管漏水修繕                | 1,837,000 円 |
| R4 25mアルミプール本体漏水部修繕           | 297,000 円   |
| R4 体育館2階コンクリート壁クラック修繕         | 262,350 円   |
| R3 50mプール残留塩素濃度管理装置及びろ過装置取替修繕 | 2,398,000 円 |
| R3 体成分分析装置備品整備(インボディ)         | 1,133,000 円 |
| R3 体育館施設・設備修繕(外部手摺・通路ガラス)     | 462,000 円   |

## 5. 事業の成果及び評価

- (1)市民体育館等の適正な管理運営について、指定管理者と情報共有しながら施設の修繕や備品整備等を計画的に行ったことにより、安全・快適に利用されている。しかしながら、昨年同様25mプールの劣化が酷く、高額な修繕費用が必要になったり、修繕可能な箇所が出てきている。
- (2)屋内多目的運動場の管理運営について、指定管理者との連絡を密に行い優先度の高いものから整備等に対応していることで、快適な環境の提供が利用者の評価に繋がっている。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                              | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                        | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| c             | b                                                                                                                                                   | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | 施設の適正管理に努めるとともに体育施設の良好な利用環境を維持するため、計画的に整備を進めていく。特に劣化が酷い市民プールについては、早急の対応が必要。<br>更に、市全体の公共施設の個別施設(維持管理)計画等との整合を図りながら、中小規模整備等についても、独自に計画的かつ効果的な整備に努める。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

|      |                                                                                                                         |       |                                |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 事業名  | 地域スポーツ活性化推進事業                                                                                                           | 所管課・係 | スポーツ振興課<br>スポーツ振興係             |
| 施策体系 | 【基本方針3】<br>生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する<br>2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進<br>誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進<br>競技力向上の推進<br>スポーツを通じた地域活性化の推進 | 予算科目  | 10 教育費<br>5 保健体育費<br>1 保健体育総務費 |
| 実施年度 | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                                                              |       |                                |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 特色ある施設環境等を生かし、スポーツを通じた交流拡大と地域活性化を図る。                                                                                                                         |
| 事業内容 | (1)スポーツツーリズム事業として、さくらんぼマラソン大会、ツーリズム交流事業等を開催し、交流人口の拡大と地域活性化に繋げる。<br>(2)スポーツ競技力向上に係る支援事業として、全国大会等出場者への激励事業等を行う。<br>(3)市民のスポーツ実施率の向上と障がい者スポーツの振興等に繋げる。(ツーリズム含む) |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |     |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|-----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 19,045 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 19,045 | 決算額 | 16,945 |
| R5 | 当初予算額 | 31,945 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 31,945 | 決算額 | 31,917 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>各種事業を市民のスポーツ実施率の向上等に繋げ、スポーツツーリズム関連の各種大会等の開催による、交流拡大と地域活性化を図った。<br/>全国大会等出場者への激励事業など、更なる競技力向上と指導者育成に向けた事業を継続実施した。</p> <p>(1)さくらんぼマラソン大会負担金 10,000千円 (R4:計上なし/R3:8,125千円⇒4,125千円/R2: 15,000⇒2,000千円)<br/>◎ 参加者(1,786名) (R4: 大会中止/R3: オンライン大会2,070名/R2: 大会中止)</p> <p>(2)トライアスロン大会負担金 (2,000千円)※水面広場の復旧工事が未完了のためデュアスロン大会に変更<br/>(R4: 豪雨災害のため中止/R3: 復旧工事のため計上なし/R2: 2,000千円⇒400千円)<br/>◎ 参加者(105名) (R4: 大会中止/R3: 大会中止/R2: 大会中止)</p> <p>(3)スポーツツーリズム交流事業負担金 (24,650千円) (R4: 17,050千円/R3: 8,136千円/R2: 16,800⇒2,800千円)<br/>(ツーリズム関連 : ツールドさくらんぼ、さくらんぼウォーク、スケートボードスクール、他)</p> <p>(4)全国大会等出場激励金 34件、850千円 (R4: 33件、780千円/R3: 20件、200千円/R2: 14件、140千円)</p> <p>スポーツ町づくりコーディネート事業<br/>(1)サガエ3×3(バスケットボール競技) (1回トーナメント参加120名) (R4: 1回、クリニック参加:60名/トーナメント参加:81名)<br/>※予算科目上、生涯スポーツ振興から移動</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1)「さくらんぼウォーク」には674名の方がエントリーされ、寒河江の自然や歴史を肌で感じていただき高評価であった。</p> <p>(2)旧幸生小学校の体育館を、屋内スケートボードの練習場として実証実験を行い、延べ約2,000人の方から利用された。地域住民や利用者から好評を得ている。</p> <p>(3)競技力向上に関連する取組が、全国大会等の上位大会出場者等の励みとなっており、多彩な競技種目の出場に拡大している。</p> <p>(4)継続的な障がい者スポーツ振興に関連する事業を通じ、障がい者や障がい者スポーツへの理解や交流を図っている。ポッチャ(パラリンピック種目)等の体験教室の出前による普及を進め、参加者の増加や理解に繋がっている。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                                              | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                                        | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | a                                                                                                                                                                                                   | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 若者に人気のあるアーバンスポーツ等を推進しながら、スポーツツーリズム関連機関などと連携して、多様なスポーツへの関わり方「する・みる・支える」を通じて、市民のスポーツ実施率を向上させるだけでなく、経済への波及など地域活性化にも繋げていく。<br>旧幸生小学校体育館をスケートボードの屋内型練習場として利活用する実証実験を経て、今後、本格的なスケートパークに整備していくための準備を行っていく。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|       |                                                                                          |           |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 事業名   | 市史編纂事業                                                                                   | 生涯学習課     |
| 施策体系  | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 | 歴史文化係     |
| 教育振興計 |                                                                                          |           |
| 実施年度  | R7目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                                               | 予算科目      |
|       |                                                                                          | 款 10 教育費  |
|       |                                                                                          | 項 4 社会教育費 |
|       |                                                                                          | 目 8 市史編纂費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                         |
|------|-----------------------------------------|
| 事業目的 | 歴史資料の収集・調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。 |
| 事業内容 | (1) 郷土資料の収集・解説・研究<br>(2) 市史等の原稿執筆・編集・発刊 |

## 3. 予算額・決算額

| (単位:千円 千円未満切上げ) |       |       |      |     |     |       |       |
|-----------------|-------|-------|------|-----|-----|-------|-------|
| R4              | 当初予算額 | 8,677 | 補正額等 | 161 | 合 計 | 8,835 | 決算額   |
| R5              | 当初予算額 | 7,035 | 補正額等 | 0   | 合 計 | 7,035 | 決算額   |
|                 |       |       |      |     |     |       | 7,622 |
|                 |       |       |      |     |     |       | 6,836 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 市史編纂委員会を開催し、市史の編集方針や発刊等について協議<br>(2) 市史編纂事業計画に基づき、寒河江市史編纂叢書第92集「三泉渡辺忠左衛門家資料(-)」を発刊<br>(3) 市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、毎月、市報5日号「生涯学習のまど」内に「市史編さんだより」を掲載 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 市史編纂叢書の発刊により、本市の歴史を後世に伝える基礎資料の整備が進み、更に、市民の市史に対する関心を高めることができた。<br>(2) 歴史資料の収集や調査により、市内の歴史・文化資料の適切な保存と活用に資することができた。<br>(3) 「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に随時対応することにより、ふるさとの歴史の啓発・普及が図られた。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                                       | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                                                 | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                                                            | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | (1) 市史編纂委員会において策定した市史編纂事業計画に基づき、発刊作業を進める。令和6年度は、市史編纂叢書第93集を発刊する予定である。<br>(2) 市史編纂事業の実施に当たっては市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員等の協力を得ながら郷土の歴史資料の収集、並びに散逸・消失を防ぐと共に、調査研究を進め、市民等への市史の普及を図る。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |                                                                                                              |                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 事業名  | 文化財保護庶務事業                                                                                                    | 生涯学習課                                |
| 施策体系 | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護<br>民俗芸能や伝統行事の保護と伝承 | 歴史文化係                                |
| 実施年度 | R7目標値: 件 R5実績値: 件 R5達成度: %                                                                                   | 予算科目<br>10 教育費<br>4 社会教育費<br>9 歴史文化費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 市内に所在する文化財の保護を図り、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。                             |
| 事業内容 | (1) 指定候補文化財の調査及び文化財保護委員会での審議・答申<br>(2) 「市文化財保存活用地域計画」の進捗状況の進行管理 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |       |    |        |     |        |
|----|-------|-------|------|-------|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 3,770 | 補正額等 | 8,072 | 合計 | 11,842 | 決算額 | 11,355 |
| R5 | 当初予算額 | 478   | 補正額等 | 0     | 合計 | 478    | 決算額 | 190    |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 文化財保護委員会を開催し、市指定文化財名称変更の審議・答申を行った。(有形文化財・考古資料5件、歴史資料2件)<br>(2) 文化財保存活用地域計画協議会を新たに設置し、地域計画の進捗状況の進行管理を行った。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 文化財としての特性を最も表している名称に変更することで、文化財を適正に保護することができた。<br>(2) 地域計画に定める歴史文化資源の保存・活用の取り組みを効果的に進めるための進行管理を行う協議会を設置したことで、達成状況や課題などの把握と評価を実施し、事業等の改善や他事業に反映できる体制ができた。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                          | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                     | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | (1) 本市の歴史と文化を後世に伝えていくため、市内所在の文化財を保護していく。<br>(2) 「市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化遺産の保存・活用を推進していく。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |                                                                                       |                                      |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 事業名              | 史跡慈恩寺旧境内整備事業                                                                          | 生涯学習課                                |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用 | 慈恩寺振興係                               |
| 実施年度             | R5目標値: R5実績値: R5達成度: %                                                                | 予算科目<br>10 教育費<br>4 社会教育費<br>9 歴史文化費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 史跡「慈恩寺旧境内」の保存整備と活用整備を行うとともに、史跡の正しい理解に導くため広く周知を図る。                                                                           |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会の開催</li> <li>・史跡の保存整備及び活用整備</li> <li>・史跡の理解促進、情報発信及び地域活性化</li> </ul> |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 14,576 | 補正額等 | 0 | 合計 | 14,576 | 決算額 | 14,323 |
| R5 | 当初予算額 | 6,857  | 補正額等 | 0 | 合計 | 6,857  | 決算額 | 6,263  |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会の開催<br/>…1回(8月)</li> <li>・慈恩寺本堂周辺及び大黒堂跡の危険木伐採を実施<br/>…13本</li> <li>・史跡の観光ルート整備のため、散策用案内看板を設置<br/>…案内看板1か所</li> <li>・慈恩寺テラス駐車場車止め設置<br/>…4台分</li> <li>・史跡内にある熊野神社拝殿理工事への補助金支出(3カ年事業の3年目)<br/>…2,063,000円</li> <li>・史跡の情報発信・活用のため、修験の道ウォーキングの実施を計画したが、コース周辺で熊出没があり中止した。<br/>…3回募集(申込者10月28日・16名、11月1日・22名、11月4日・19名)</li> <li>・史跡の理解促進及び情報発信のため、慈恩寺Timesを発行<br/>…5回(4月、7月、9月、12月、3月)</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・堂社跡や楯跡を巡る散策用案内看板設置により、来訪者の満足度向上につながる史跡内散策の環境整備を行った。今後は、散策コースの周知が必要である。</li> <li>・慈恩寺Timesの発行により、史跡への理解促進及び情報発信を図った。修験の道ウォーキングはコース周辺で熊の出没があったため中止となったが、申込者からは次年度の開催を望む声が多かった。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性       | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b            | a            | b             | b             |                 |         |

## 別記様式

|       |                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今後の対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>・史跡の保存整備及び活用整備については、当初計画通りに実施し、慈恩寺テラス来場者やイベント参加者からは概ね良い評価が得られた。今後は、各種散策イベント、慈恩寺テラス企画展の充実、周知等により、史跡への一層の理解促進及び魅力発信に取り組んでいく。</li></ul> |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |                                                                                           |                                      |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 事業名              | 郷土館保存事業                                                                                   | 生涯学習課                                |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針4】<br>ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う<br>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進<br>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 | 歴史文化係                                |
| 実施年度             | R5目標値:      %      R5実績値:      %      R5達成度:      %                                       | 予算科目<br>10 教育費<br>4 社会教育費<br>9 歴史文化費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | (1) 県指定文化財である旧西村山郡役所、旧西村山郡会議事堂の保存を図る。<br>(2) 郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。 |
| 事業内容 | (1) 郷土館の保存・維持管理<br>(2) 郡制時代をテーマとした資料館としての一般開放<br>(3) 郷土館特別展の開催                         |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |     |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|-----|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 2,454 | 補正額等 | △91 | 合 計 | 2,363 | 決算額 | 2,093 |
| R5 | 当初予算額 | 3,542 | 補正額等 | 0   | 合 計 | 3,542 | 決算額 | 3,301 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 県指定有形文化財旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂の保護と郷土資料の収集・展示を行い、郷土学習の機会を提供した。<br>(開館期間:4月8日～11月12日の土・日曜日・祝日 入館者数:838名) |
| (2) 郷土館特別展「地名を歩く」を開催した。(開催期間:9月15日～10月9日 入館者数:193名)                                                   |
| (3) 旧西村山郡役所屋根避雷針部の漏水修繕工事を実施した。                                                                        |

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 管理運営並びに維持管理等業務の委託により、きめ細やかな管理を行うことができた。<br>(2) 郷土館特別展では、市内の地名の由来や歴史について関心を高めることができた。<br>(3) 市内の小・中学校の郷土学習に対応し、郷土館のPRや収集・保管資料の活用ができた。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                    | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                              | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                         | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | (1) 県指定有形文化財である建物を後世に残すため、修繕を実施し適正に保存していく。<br>(2) 特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。<br>(3) 郷土館のさらなる活用に向け、郷土館利活用基本計画の策定を目指す。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                        |       |                             |
|--------|----------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 事業名    | 学校職員衛生管理事業                             | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係              |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する  | 予算科目  | 10 教育費<br>1 教育総務費<br>2 事務局費 |
| 教育振興計画 | 1 信頼される教育の推進<br>信頼される教育環境づくり           |       |                             |
| 実施年度   | R5目標値: 100 % R5実績値: 100 % R5達成度: 100 % |       | ※学校職員の健康診断受診率               |

## 2. 事業の概要

|      |                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 学校職員の安全の確保及び健康の保全を図る。                                         |
| 事業内容 | (1) 衛生委員会の設置<br>(2) 学校職員の健康診断等の実施<br>(3) 長時間労働等に係るメンタルヘルス面接指導 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |    |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 4,355 | 補正額等 | 0 | 合計 | 4,355 | 決算額 | 3,770 |
| R5 | 当初予算額 | 4,325 | 補正額等 | 0 | 合計 | 4,325 | 決算額 | 3,508 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 学校職員の健康維持を図るため、衛生委員会を設置。                                                                   |
| (2) 学校職員を対象にした健康診断、胃がん、大腸がん検診を実施。                                                              |
| (3) 学校職員を対象にしたストレスチェックを実施。受診率 小学校 R3 94.4%、R4 85.0%、R5 89.5%<br>中学校 R3 71.1%、R4 57.4%、R5 70.4% |
| (4) 所定の時間を超える時間外勤務を行った学校職員に対し、産業医等による面接指導を実施(R5 面接者 25名)                                       |

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校職員等の健康診断については、人間ドック対象職員を除いた全ての対象者が受診するように働きかけ、全ての職員が受診することができた。また、「陵南中学校衛生委員会」及びその他市内の小中学校で組織した「総括衛生委員会」において、学校職員の健康診断及びストレスチェック業務を実施状況や結果を報告し、共有した。なお、ストレスチェックの必要性を確認し、前年度より受診率が高くなった。 |
| 加えて長時間勤務者の状況の報告とメンタルヘルス面接指導の対応について協議し、職場環境改善に向け努力していくことを確認できた。                                                                                                                            |

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                    | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                              | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | A               | 継続      |
| b             | a                                                                         | a            | b             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | 学校職員衛生委員会を中心に、学校職員の健康維持に努める。特に、メンタル面での健康維持について、不調者の早期発見及び産業医等への面接へつないでいく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|      |                                                                        |       |                                    |
|------|------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------|
| 事業名  | 教育振興事業                                                                 | 所管課・係 | 学校教育課<br>学事係                       |
| 施策体系 | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する<br>1 信頼される教育の推進<br>信頼される教育環境づくり | 予算科目  | 10 教育費<br>2,3 小学校費、中学校費<br>3 教育振興費 |
| 実施年度 | R5目標値: % R5実績値: % R5達成度: %                                             |       |                                    |

## 2. 事業の概要

|      |                                              |
|------|----------------------------------------------|
| 事業目的 | 学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。                  |
| 事業内容 | 学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |        |      |   |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 17,708 | 補正額等 | 0 | 合計 | 17,708 | 決算額 | 16,038 |
| R5 | 当初予算額 | 17,223 | 補正額等 | 0 | 合計 | 17,223 | 決算額 | 15,548 |

### (中学校費)

|    |       |        |      |   |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|---|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 12,233 | 補正額等 | 0 | 合計 | 12,233 | 決算額 | 10,430 |
| R5 | 当初予算額 | 11,980 | 補正額等 | 0 | 合計 | 11,980 | 決算額 | 10,840 |

## 4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

### (小学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 15,493 千円 (R4 16,368千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,730 千円 (R4 1,340千円)

### (中学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 10,810 千円 (R4 11,648千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,170 千円 (R4 585千円)

## 5. 事業の効果及び評価

- (1) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、教材の整備を進めることができた。  
 (2) 児童生徒1人1台タブレットPCの使用開始にあわせ、デジタル教科書を導入。(小学校:各学年1教科、中学校:各学年2教科←各学校で購入教科を選択)また、デジタル教科書の使用により、英語発音、社会理科の動画視聴、さらに、支援を必要とする児童生徒には読み上げ、ルビ、文字拡大等学びやすい学習環境が提供できている。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          |  | ②-1必要性                                                                                          | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか |  | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                    | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             |  | b                                                                                               | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         |  | ・教材教具整備については、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。<br>・1人1台タブレットPCと併用し、デジタル教科書の使用を継続、拡大していく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                        |   |        |       |                |           |
|--------|----------------------------------------|---|--------|-------|----------------|-----------|
| 事業名    | 学校管理事業(小中学校)                           |   |        | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係 |           |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する |   |        | 予算科目  | 10             | 教育費       |
| 教育振興計画 | 2 安全安心で充実した教育環境の整備<br>安全管理の徹底          |   |        | 項     | 2.3            | 小学校費、中学校費 |
| 実施年度   | R5目標値:                                 | % | R5実績値: | 目     | 1              | 学校管理費     |
|        |                                        | % | R5達成度: |       |                |           |
|        |                                        | % |        |       |                |           |

## 2. 事業の概要

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 事業目的 | 教育環境の充実と安全安心な学校づくり及び、施設設備の維持管理 |
| 事業内容 | 小中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理、備品消耗品の購入 |

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |         |      |         |    |         |     |         |
|----|-------|---------|------|---------|----|---------|-----|---------|
| R4 | 当初予算額 | 338,696 | 補正額等 | 167,277 | 合計 | 505,973 | 決算額 | 320,609 |
| R5 | 当初予算額 | 144,045 | 補正額等 | 174,277 | 合計 | 318,322 | 決算額 | 309,402 |

### (中学校費)

|    |       |        |      |       |    |        |     |        |
|----|-------|--------|------|-------|----|--------|-----|--------|
| R4 | 当初予算額 | 54,680 | 補正額等 | 0     | 合計 | 54,680 | 決算額 | 52,103 |
| R5 | 当初予算額 | 60,913 | 補正額等 | 5,940 | 合計 | 66,853 | 決算額 | 58,425 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                    |
|----------------------------------------------------|
| (1) 保守点検、施設管理業務委託等                                 |
| ① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、空調設備定期簡易点検業務、貯水槽清掃点検業務、樹木剪定業務 |
| ② 印刷機・コピー機賃貸借 外                                    |
| (2) 修繕                                             |
| 給排水管修理、消防設備修理、プールろ過機等修理他                           |
| (3) 施設整備工事                                         |
| 柴橋・醍醐小学校LED更新工事、南部小大規模改修工事、小学校特別教室空調設備工事 他         |
| (4) 備品整備                                           |
| 中学校体育館等用可動式冷風機、児童用椅子 他                             |

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 南部小学校において、予防改修が行われたことにより、経年劣化によりクラックが入り、汚れていた外壁がきれいになり、雨漏り等心配がなくなり、今後20年以上安心して使用できる校舎となった。 |
| (2) 蛍光灯をLED化したことによる節電効果として、柴橋小、醍醐小の電気使用デマンド値で確認できた。                                            |
| 柴橋小 5月でのデマンド値 R5 37 → R6 25 電力使用量 R5 9,023kw/h → R6 5,788kw/h                                  |
| 醍醐小 5月でのデマンド値 R5 49 → R5 25 電力使用量 R5 8,157kw/h → R6 6,248kw/h                                  |

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                            | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                      | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | a                                                                                                                                                 | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 「学校施設整備計画」において、新たな中学校の設置や小学校の統合が行われる計画が示されている。今後学校により施設設備の不良箇所改修は、大規模な工事等によらず機能維持のための工事や修繕で対応していくが、各学校施設の経年劣化が進んでいる状況から今後ますます維持管理費は増えていくことが予想される。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|                  |                                                                                         |                                     |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 事業名              | 公民館活動事業                                                                                 | 生涯学習課                               |
| 施策体系<br>(教育振興計画) | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する<br>3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>活力ある地域をつくる地区公民館運営 | 中央公民館                               |
| 実施年度             | R7目標値: 4,200 人 R5実績値: 5,366 人 R4達成度: 128 %                                              | 予算科目<br>10 教育費<br>4 社会教育費<br>4 公民館費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動と公民館活動を推進する。                                  |
| 事業内容 | (1)各地区公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会等の地域づくり活動を支援していく。<br>(2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成を図る。 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 4,409 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 4,409 | 決算額 | 3,687 |
| R5 | 当初予算額 | 4,413 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 4,413 | 決算額 | 3,813 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①分館活動／市内61分館において、一部中止や規模縮小も見られたが、大方の事業が再開された。</p> <p>②生涯学習活動推進員／7名の推進員から、県民芸術祭の運営に協力いただいた。</p> <p>③学びのふるさと推進事業</p> <p>(ア)地域塾事業(分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会)…元町分館にて4年ぶりに実施(地域学習)</p> <p>(イ)分館連携事業(分館と地区公民館が連携し地域力向上等を図る事業)／末広分館(ものづくり教室)、皿沼分館(文化祭)、木ノ沢分館(ニュースポーツ)、田代分館(健康セミナー)</p> <p>(ウ)寒河江市公民館大会(2月3日開催)／講演「公民館を核とした持続可能な地域づくり」置賜物広域行政事務組合 鈴木 充 氏</p> <p>(エ)寒河江市少年少女合唱団／定期演奏会、県少年少女合唱祭参加、クリスマスコンサート(長生園訪問)、スプリングコンサート他</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各地区公民館において多くの事業が再開されたとともに、各種団体の活発な活動の再開が見られた。地区においても、レクリエーション大会やグラウンドゴルフ大会、ウォーキング大会等が行われたほか各地区で子ども会事業・文化祭などが開催された。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                               | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                         | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| c             | b                                                    | b            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 各地区の活動の再開も進み、今後も安定した事業の維持・発展のために、積極的に育成・支援していく必要がある。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                |           |
|--------|------------------------------------------------|-----------|
| 事業名    | 公民館整備事業                                        | 生涯学習課     |
| 生涯学習係  |                                                | 生涯学習係     |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する         | 10 教育費    |
| 教育振興計画 | 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>地域の特色を生かした公民館活動の推進 | 4 社会教育費   |
| 実施年度   | R7目標値: 2分館 R5実績値: 3分館 R5達成度: 50 %              | 1 社会教育総務費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                       |
|------|-------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 地域のコミュニティの核である地区公民館分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。 |
| 事業内容 | 分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。    |

## 3. 予算額・決算額

|    |       |       |      |    |     |       |     |       |
|----|-------|-------|------|----|-----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 9,000 | 補正額等 | 52 | 合 計 | 9,052 | 決算額 | 9,047 |
| R5 | 当初予算額 | 6,384 | 補正額等 | 0  | 合 計 | 6,384 | 決算額 | 6,111 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民館整備事業補助金<br>・下河原分館エアコン設置<br>事業費 1,573,000円 完成年月日 令和5年7月12日 補助金額 1,048,000円<br>他、全13分館 事業項目15項目 補助総額 6,111,000円<br>○事業内訳(延べ件数)<br>・エアコン設置工事 2件 ・屋根等塗装工事 4件 ・照明LED化工事 3件 ・備品購入 3件<br>・その他改修工事 各 3件 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                |
|--------------------------------|
| 13分館において整備が図られ、地域活動の活性化につながった。 |
|--------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                            | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-----------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                      | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                 | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | 各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 |              |               |               |                 |         |

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                                          |            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|------------|
| 事業名    | 放課後子ども教室推進事業                                                             | 生涯学習課      |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する                                   | 生涯学習係      |
| 教育振興計画 | 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化<br>地域の特色を生かした公民館活動の推進<br>生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化 | 予算科目       |
| 実施年度   | R7目標値: R5実績値: R5達成度: %                                                   | 10 教育費     |
|        |                                                                          | 4 社会教育費    |
|        |                                                                          | 10 生涯学習推進費 |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                            |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。 |
| 事業内容 | 寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の小学校児童を対象に教室を開催。                                             |

## 3. 予算額・決算額

| (単位:千円 千円未満切上げ) |       |       |      |   |     |       |     |       |
|-----------------|-------|-------|------|---|-----|-------|-----|-------|
| R4              | 当初予算額 | 1,618 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 1,618 | 決算額 | 1,237 |
| R5              | 当初予算額 | 1,631 | 補正額等 | 0 | 合 計 | 1,631 | 決算額 | 1,262 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全小学校を対象として5教室を開催した。<br>内容:ニュースポーツ体験、図画工作活動や施設見学などを実施。<br>参加人数等<br>・コーディネーター 15名(前年度比8名増) 協働活動支援員・サポーター 51名(前年度比18名増)<br>・参加者総数 195名(前年度比2名増)<br>(参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小:59名(前年度比4名減) 寒河江中部小:82名(前年度比7名増)<br>南部小:14名(前年度比1名減)、柴橋小:20名(前年度比1名減)、<br>高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 20名(前年度比1名増) |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の成果及び評価

|                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)各公民館で、工夫を凝らし事業を実施することができた。<br>(2)集団内の異年齢交流や、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。<br>(3)活動を通し、参加した児童の社会性が培われた。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                                   | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                                             | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                                        | a            | a             | a             |                 |         |
| 今後の対応         | (1) 子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。<br>(2) 指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。<br>(3) 本事業を通して、子ども達の地域活動への参加が促進される流れを作っていく。 |              |               |               |                 |         |

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

|        |                                                      |   |        |       |                |         |
|--------|------------------------------------------------------|---|--------|-------|----------------|---------|
| 事業名    | 教育委員会事務局管理事業                                         |   |        | 所管課・係 | 学校教育課<br>教育総務係 |         |
| 施策体系   | 【基本方針5】<br>教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する                |   |        | 予算科目  | 款              | 10 教育費  |
| 教育振興計画 | 4 開かれた教育行政の推進<br><br>信頼に応える教育行政の推進<br>教育情報の公開と共有化の推進 |   |        |       | 項              | 1 教育総務費 |
| 実施年度   | R5目標値:                                               | % | R5実績値: |       | 目              | 2 事務局費  |
|        |                                                      |   |        |       |                |         |

## 2. 事業の概要

|      |                                                                                                                                  |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目的 | 教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。                                                                                                 |
| 事業内容 | (1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務<br>(2) 教育功労、叙勲等に関する事務<br>(3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務<br>(4) 学校基本調査等各種調査に関する事務<br>(5) その他学校教育課内の庶務に関する事務 |

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

|    |       |       |      |   |    |       |     |       |
|----|-------|-------|------|---|----|-------|-----|-------|
| R4 | 当初予算額 | 3,295 | 補正額等 | 0 | 合計 | 3,295 | 決算額 | 1,076 |
| R5 | 当初予算額 | 3,360 | 補正額等 | 0 | 合計 | 3,360 | 決算額 | 1,450 |

## 4. 事業の実施状況

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 4件(R4 1件) ・死亡叙位叙勲 1件(R4 0件)</p> <p>(2) 教育委員会が執行した事務事業(令和5年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表。</p> <p>(3) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行。</p> <p>(4) 寒河江市総合教育会議の開催 2回</p> <p>(5) 教育委員に関する事務(毎月の定例委員会、全小中学校を対象にした学校訪問等)</p> <p>(6) 「寒河江市中学校部活動改革検討委員会」の事務局として、第1回～第5回の検討委員会を実施した。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 5. 事業の効果及び評価

|                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 教育委員会内及び学校教育課内の一般事務について、適時、適切な対応を行った。</p> <p>(2) 総合教育会議を2回開催し、市長と教育委員会との認識が共有化されるとともに、十分な意思疎通が図ることができた。特に本市における「寒河江市学校施設整備計画改定(案)」を議題に意見交換を行い、一定の方向性が確認することができた。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

| ①有効性          | ②-1必要性                                                                                                                                    | ②-2必要性       | ③効率性          | ④公平性          | ⑤総合評価<br>(自己評価) | ⑥事業の方向性 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------|
| 期待された成果は得られたか | 事業ニーズに変化はあるか                                                                                                                              | 市(行政)の関与は必要か | 効率性を高める余地はないか | 公平性を見直す余地はないか | B               | 継続      |
| b             | b                                                                                                                                         | a            | b             | b             |                 |         |
| 今後の対応         | 「部活動改革」について、部活動改革検討委員会を組織し、年間4回計画し、協議検討を進めていく。<br>スポーツ庁の委託事業を活用し、部活動改革のための総括コーディネーターの配置、地域クラブの持続可能な運営のための実証事業、地域クラブ指導者等を対象とした指導者研修会を開催する。 |              |               |               |                 |         |

---

---

令和6年8月

◆学 校 教 育 課

〒991-8601 寒河江市中央一丁目9番45号  
TEL 0237-86-2111(代表) FAX 0237-86-8691  
e-mail [kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp](mailto:kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp)

◆生 涯 学 習 課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333  
TEL 0237-86-5111 FAX 0237-86-2201  
e-mail [shogaku@city.sagae.yamagata.jp](mailto:shogaku@city.sagae.yamagata.jp)

◆スポーツ振興課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西365（市民体育館内）  
TEL 0237-84-1877 FAX 0237-86-9876  
e-mail [sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp](mailto:sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp)

【寒河江市教育委員会】

---

---